

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

In re Patent Application of: )  
)  
Junji SEKI, et al. )  
) Group Art Unit: Unassigned  
Serial No.: NEW )  
) Examiner: Unassigned  
Filed: March 20, 2001 )  
)  
For: SALES TRANSACTION )  
SUPPORT METHOD, )  
SALES TRANSACTION )  
SUPPORT APPARATUS AND )  
RECORDING MEDIUM )



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN  
APPLICATION IN ACCORDANCE  
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Honorable Commissioner of Patents and Trademarks  
Washington, D.C. 20231*

*Sir:*

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s)  
herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-332318, filed: October 21, 2000.

It is respectfully requested that the applicants be given the benefit of the foreign filing  
date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements  
of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,  
STAAS & HALSEY LLP

A handwritten signature in black ink, appearing to be "James D. Halsey, Jr.", enclosed within a circular stamp.

Date: March 20, 2001

By: \_\_\_\_\_  
James D. Halsey, Jr.  
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500  
Washington, D.C. 20001  
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2000年10月31日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2000-332318

出 願 人  
Applicant (s):

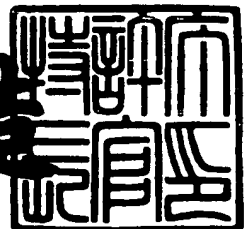
富士通株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 1月 5日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】 特許願

【整理番号】 0051834

【提出日】 平成12年10月31日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明の名称】 販売支援方法、販売支援装置及び記録媒体

【請求項の数】 7

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

    【氏名】 関 順二

【発明者】

    【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

    【氏名】 京増 弘志

【特許出願人】

    【識別番号】 000005223

    【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100092152

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 服部 毅巖

    【電話番号】 0426-45-6644

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 009874

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705176

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 販売支援方法、販売支援装置及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 商品の販売を支援する販売支援方法において、  
前記商品の紹介を行う商品紹介処理ステップと、

前記商品紹介処理ステップにおいて紹介された前記商品の画像を示す商品画像  
情報と、被写体の画像を示す被写体画像情報とを用い、前記商品を前記被写体に  
擬似的に試着させた試着シミュレーション画像を提供する試着シミュレーション  
処理ステップと、

前記商品に対する取引処理を行う取引処理ステップと、  
を有することを特徴とする販売支援方法。

【請求項 2】 前記取引処理ステップは、  
前記商品の販売店に対し、前記商品の試着予約を行う試着予約処理ステップを  
有することを特徴とする請求項 1 記載の販売支援方法。

【請求項 3】 利用者の顧客情報を登録する顧客情報処理ステップをさらに  
有し、

前記被写体画像情報は、  
前記顧客情報をもとに生成された情報であることを特徴とする請求項 1 記載の  
販売支援方法。

【請求項 4】 前記商品紹介処理ステップは、  
前記顧客情報処理ステップにおいて登録された前記顧客情報をもとに選択され  
た前記商品を紹介することを特徴とする請求項 3 記載の販売支援方法。

【請求項 5】 前記商品紹介処理ステップにおける前記商品の紹介、前記試  
着シミュレーション処理ステップにおける前記試着シミュレーション画像の提供  
、及び、前記取引処理ステップにおける前記取引処理は、  
電気通信回線を介して行われることを特徴とする請求項 1 記載の販売支援方法

【請求項 6】 商品の販売を支援する販売支援装置において、  
前記商品の紹介を行う商品紹介処理手段と、

前記商品紹介処理手段において紹介された前記商品の画像を示す商品画像情報と、被写体の画像を示す被写体画像情報とを用い、前記商品を前記被写体に擬似的に試着させた試着シミュレーション画像を提供する試着シミュレーション処理手段と、

前記商品に対する取引処理を行う取引処理手段と、  
を有することを特徴とする販売支援装置。

【請求項 7】 商品の紹介を行い、

紹介された前記商品の画像を示す商品画像情報と、被写体の画像を示す被写体画像情報とを用い、前記商品を前記被写体に擬似的に試着させた試着シミュレーション画像を提供し、

前記商品に対する取引処理を行う機能をコンピュータに行わせるプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、商品の販売を支援する販売支援方法、販売支援装置及びその機能をコンピュータに行わせるプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関し、特に、電気通信回線を介したネット販売における販売支援方法、販売支援装置及びその機能をコンピュータに行わせるプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、商品の販売形態の1つとして、雑誌、カタログ、テレビ等で商品の紹介を行い、それらの商品を通信販売によって販売する方法が採られてきた。これらの方法では、顧客が雑誌等に掲載された写真等を閲覧することによって購入する商品の選択を行い、電話等によってその購入申し込みを行い、郵送等による配達によって購入した商品を受け取るものである。

【0003】

また、近年におけるインターネット等の電気通信網の発達にともない、このよ

うな電気通信網を介したネット販売による商品販売も行われるようになってきた。このようなネット販売では、顧客がインターネットのホームページ等にアクセスし、そのホームページから商品情報を取得することによって購入しようとする商品の選択を行うものであり、その商品の購入申し込みも、このインターネット等を介して行われる。なお、購入された商品の受け渡しは、その他の通信販売の場合と同様、郵送等による配達によって行われる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、ネット販売等の通信販売では、商品の写真等の閲覧はできるものの、購入前にその商品を実際に手にとって、その商品の内容を確認することはできない。そのため、このような通信販売は、機能が明確な電子機器等の販売には適しているが、洋服、靴等のような、顧客が実際に試着を行い、その洋服等が顧客に似合うか否か等の主観的価値判断を行った後に購入する商品の販売には適さないという問題点がある。

【0005】

例えば、顧客がネット販売等によって洋服を購入する場合には、購入前に、その顧客がその洋服を着たイメージを適切に思い浮かべることが困難である場合も多く、この場合、配達された洋服を実際に着てみると、色やデザインが本人には似合わなかったというような問題も生じる場合がある。一方、このような事情により、洋服の販売業者にとっては、特に、ファッション性の高い洋服をネット販売等によって販売することは困難であり、また、販売後の商品が返品されといったリスクを負うことにもなる。

【0006】

本発明はこのような点に鑑みてなされたものであり、通信販売において、購入しようとする商品が顧客に似合うか否か等の主観的価値判断を可能にし、このような主観的価値判断のもとに、購入しようとする商品の選択を行うことを可能にする販売支援方法、販売支援装置及びその機能をコンピュータに行わせるプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することを目的とする。

## 【0007】

## 【課題を解決するための手段】

本発明では上記課題を解決するために、商品の販売を支援する販売支援方法において、前記商品の紹介を行う商品紹介処理ステップと、前記商品紹介処理ステップにおいて紹介された前記商品の画像を示す商品画像情報と、被写体の画像を示す被写体画像情報とを用い、前記商品を前記被写体に擬似的に試着させた試着シミュレーション画像を提供する試着シミュレーション処理ステップと、前記商品に対する取引処理を行う取引処理ステップとを有することを特徴とする販売支援方法が提供される。

## 【0008】

ここで、商品紹介処理ステップは、顧客に対して商品の紹介を行い、試着シミュレーション処理ステップは、商品紹介処理ステップにおいて紹介された商品の画像を示す商品画像情報と、被写体の画像を示す被写体画像情報とを用い、商品を被写体に擬似的に試着させた試着シミュレーション画像を提供し、取引処理ステップは、商品に対する取引処理を行う。

## 【0009】

また、本発明の販売支援方法において、好ましくは、取引処理ステップは、商品の販売店に対し、商品の試着予約を行う試着予約処理ステップを有する。

また、本発明の販売支援方法は、好ましくは、利用者の顧客情報を登録する顧客情報処理ステップをさらに有し、被写体画像情報は、顧客情報をもとに生成された情報である。

## 【0010】

また、本発明の販売支援方法において、好ましくは、商品紹介処理ステップは、顧客情報処理ステップにおいて登録された顧客情報をもとに選択された商品を紹介する。

## 【0011】

また、本発明の販売支援方法において、好ましくは、商品紹介処理ステップにおける商品の紹介、試着シミュレーション処理ステップにおける試着シミュレーション画像の提供、及び、取引処理ステップにおける取引処理は、電気通信回線



を介して行われる。

【0012】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

図1は、本形態における販売支援システム1の構成を示した構成図である。

【0013】

販売支援システム1は、例えば、ネット販売による商品販売を支援するサーバ等である販売支援装置10、インターネット、イントラネット、LAN、WAN等の電気通信回線であるネットワーク20、及び当該システムの利用者が使用するパーソナルコンピュータ、PDA等の通信端末である端末装置30によって構成されている。

【0014】

また、販売支援装置10は、例えば、商品の紹介を行う商品紹介処理手段11、紹介する商品情報等が格納された商品紹介情報格納手段12、後述する試着シミュレーションを行う試着シミュレーション処理手段13、試着シミュレーションに必要な各種情報を格納する試着シミュレーション情報格納手段14、利用者の顧客情報登録処理を行う顧客情報処理手段15、顧客情報を格納する顧客情報格納手段16、商品に対する取引処理を行う取引処理手段17、及び取引処理に必要な情報を格納する取引情報格納手段18によって構成されている。

【0015】

販売支援装置10は、ネットワーク20を介し、端末装置30と通信可能なように接続され、販売支援システム1における各処理は、このネットワーク20を介して行われる。なお、図1では、説明の簡略化のため、単独の端末装置30を記載しているが、実際は、複数の端末装置30が、ネットワーク20を介し、販売支援装置10と通信可能なように接続されている。

【0016】

図2は、商品紹介情報格納手段12に格納された情報の内容を例示した図である。

図2に示すように、商品紹介情報格納手段12には、例えば、顧客の年齢層、

用途等に対応させて設定した推奨商品群を示す商品紹介情報を格納した商品紹介情報レコードDB12a、商品の個別情報を格納した商品マスタDB12b、及び、商品の画像を示す商品画像情報を格納した商品イメージDB12cが格納される。

#### 【0017】

図2の例では、商品紹介情報レコードDB12aに格納される商品紹介情報として、“A”というセット商品IDが付されたセット商品名“スーツセットA”という商品の商品紹介情報を例示している。この例の商品紹介情報は、セット商品名“スーツセットA”に対応した“商品構成タイプ”、“セット商品点数”、“構成商品”、“ファッションスタイル”、“対象ユーザ条件”、“カテゴリ”、“利用シーン”、“セット商品価格”、“数量”、“取扱店舗”等の情報を有しており、これにより、設定された推奨商品群の推奨対象、内容等が特定され、顧客の年齢等の情報をキーとして、その顧客に対する推奨商品を選定できる構成となっている。

#### 【0018】

ここで、商品構成タイプとは、セット商品を構成する商品の組み合わせ種別を、セット商品点数とは、組み合わされる商品点数を、構成商品とは、セット商品を構成する個別商品を、ファッションスタイルとは、セット商品のファッション様式をそれぞれ示している。また、対象ユーザ条件とは、セット商品の販売対象となる顧客の性別、年齢等を示した条件であり、カテゴリとは、セット商品の利用分野を、利用シーンとは、セット商品の利用場所を示したものである。

#### 【0019】

図3は、試着シミュレーション情報格納手段14に格納された情報の内容を例示した図である。

図3に示すように、試着シミュレーション情報格納手段14には、例えば、遂行した試着シミュレーションの内容を管理する管理情報を格納する管理レコードDB14a、性別、身長、体型等のタイプ別に設定された被写体ひな型の画像情報が格納された被写体ひな型DB14b、顧客の個人情報をもとに被写体ひな型DB14bから抽出した被写体ひな型と顧客の顔写真等とから生成された顧客の

疑似モデルである被写体の画像を示す被写体画像情報を格納するシミュレーションイメージ格納DB14c、及び、図2に示した商品イメージDB12cに格納された商品画像情報と、シミュレーションイメージ格納DB14cに格納された被写体画像情報とを用い、商品を被写体に擬似的に試着させた様子を示す試着シミュレーション画像情報を格納する試着イメージ格納DB14dが格納される。

#### 【0020】

図3の例において、管理レコードDB14aに格納される管理情報は、“管理番号”、“登録年月日”、“被写体モデルタイプ”、“体型選択”、“試着モード”、“身長入力”、“体型変更”、“被写体イメージ格納ADR”、“試着イメージ格納ADR”、“セット商品ID”、“セット商品名”、“商品構成タイプ”、“セット商品点数”、“構成商品”等の情報を有しており、“管理番号”を特定することにより、遂行した試着シミュレーションの内容を特定できるような構成となっている。

#### 【0021】

ここで、被写体モデルタイプは、試着シミュレーションに用いられた被写体ひな型のタイプを、体型選択は、試着シミュレーションに用いられた被写体ひな型の体型パターンを、試着モードは、利用者本人を対象とした試着シミュレーションであるか、本人以外を対象とした試着シミュレーションであるかの区別を、それぞれ示している。身長入力とは、入力された試着対象者の身長を示すものであり、この内容は、試着シミュレーションに用いられた被写体の身長設定に反映される。体型変更とは、被写体の体型を変更させるために入力された情報を示すものであり、この内容も試着シミュレーションに用いられる被写体の体型設定に反映される。また、被写体イメージ格納ADRとは、シミュレーションイメージ格納DB14cに格納された被写体画像情報のアドレスを、試着イメージ格納ADRとは、試着イメージ格納DB14dに格納された試着シミュレーション画像情報のアドレスを、それぞれ示している。

#### 【0022】

図4は、顧客情報格納手段16に格納された情報の内容を例示した図である。

図4に示すように、顧客情報格納手段16には、例えば、登録された利用者の

顧客情報である会員情報を格納する会員情報レコードDB16a、及び、登録された利用者の顔写真等の画像情報を格納する顔写真イメージDB16bが格納される。

【0023】

図4の例において、会員情報レコードDB16aに格納される会員情報は、“会員ID番号”、“氏名”、“年齢”、“性別”、“生年月日”、“住所”、“家族情報”、“趣味”、“本人のイメージデータの有無”、“イメージデータインデックス”、“身長”、“体重”、“首周りサイズ”、“体型タイプ”、“取引履歴”等の情報を有しており、会員ID番号を特定することにより、その会員の顧客情報を特定できるようになっている。また、顔写真イメージDB16bは、“全身”、“顔（正面）”、“顔（斜め）”、“手”、“足”等の画像情報を有している。

【0024】

ここで、本人のイメージデータとは、顧客本人の顔写真等の画像情報を意味し、イメージデータインデックスは、その画像情報が格納された顔写真イメージDB16bのアドレスを示す。

【0025】

なお、会員情報レコードDB16aに格納される会員情報、及び顔写真イメージDB16bに格納される顔写真等の画像情報は、会員本人の会員情報、画像情報のみならず、その会員の家族、友人等の会員情報、画像情報をも有することとしてもよい。

【0026】

図5～図7は、取引情報格納手段18に格納される情報の内容を例示した図である。

図5～図7に示すように、取引情報格納手段18には、例えば、購入しようとする商品の情報である注文カート情報を格納する注文カート情報DB18a、購入された商品の情報である購入注文情報を格納する購入注文レコードDB18b、及び後述する試着予約の内容を示す試着予約情報を格納する試着予約レコードDB18cが格納される。

## 【0027】

図5の例において、注文カート情報DB18aに格納される注文カート情報は、“受付年月日”、“管理番号”、“登録件数”、“顧客番号”、“顧客氏名”、“購入商品コード”、“購入商品名”、“商品価格”、“ファッションスタイル”、“試着イメージデータ”等を有している。

## 【0028】

ここで、顧客番号とは、当該取引処理を行った顧客の会員ID番号或いは非会員用に発行された仮番号を、購入商品コードとは、購入しようとする商品を特定するためのコードをそれぞれ示している。

## 【0029】

図6の例において、購入注文レコードDB18bに格納される購入注文情報は、“受付年月日”、“取引番号”、“取引種別コード”、“顧客番号”、“顧客氏名”、“購入商品コード”、“購入商品名”、“商品価格”、“ファッションスタイル”、“試着イメージデータ”、“購入受付コード”、“数量”、“合計金額”、“支払い方法”、“配達先住所”等を有している。

## 【0030】

ここで、取引種別コードとは、購入注文、試着店舗予約、試着宅配予約、試着出前予約、レンタル、プリント予約、美容院予約等の取引の種別を示す情報であり、購入注文レコードDB18bには、これらのうち、購入注文に関する取引の情報のみが格納される。

## 【0031】

図7の例において、試着予約レコードDB18cに格納される試着予約情報は、“受付年月日”、“取引番号”、“取引種別コード”、“顧客番号”、“顧客氏名”、“購入商品コード”、“購入商品名”、“商品価格”、“ファッションスタイル”、“試着イメージデータ”、“予約受付コード”、“試着予約店舗”、“試着予約日”等を有している。

## 【0032】

次に、販売支援システム1の動作について説明する。

図8は、販売支援システム1の全体動作を説明するためのフローチャートであ

る。

【 0 0 3 3 】

ステップ S 1 :

販売支援システム 1 を利用しようとする利用者は、端末装置 3 0 を用い、ネットワーク 2 0 を介して販売支援装置 1 0 への接続を行う。販売支援装置 1 0 への接続が行われると、販売支援装置 1 0 は、イニシャル処理を行い、初期画面であるホームページを、ネットワーク 2 0 を介し、端末装置 3 0 に送信する。

【 0 0 3 4 】

ホームページが送信された端末装置 3 0 は、その内容を端末装置 3 0 が有する表示装置等に表示する。表示されたホームページには、利用者を認証するための I D 入力欄、処理を選択するための情報入力欄が表示され、そのホームページを閲覧した利用者は、その表示内容に従って所定の情報を入力し、その入力内容を、ネットワーク 2 0 を介して販売支援装置 1 0 に送信する。

【 0 0 3 5 】

ステップ S 2 :

販売支援装置 1 0 が、端末装置 3 0 から送信された入力内容である処理要求を受信したか否か判断する。ここで、処理要求を受信した場合、ステップ S 4 に進む。処理要求を受信していない場合、ステップ S 3 に進む。

【 0 0 3 6 】

ステップ S 3 :

処理要求の受信待ちを行う。

ステップ S 4 :

端末装置 3 0 から送信された処理要求を受信する。

【 0 0 3 7 】

ステップ S 5 :

ステップ S 4 で受信した処理要求が、処理を終了する要求であったか否か判断する。ここで、処理を終了する要求であった場合、処理を終了する。処理を終了する要求でなかった場合、ステップ S 6 に進む。

【 0 0 3 8 】

ステップ S 6 :

ステップ S 4 で受信した処理要求の種類に応じ、処理内容を振り分ける。ステップ S 4 で受信した処理要求が、利用者の新規登録要求であった場合、ステップ S 7 に進む。処理要求が、商品選択要求であった場合、ステップ S 8 に進む。処理要求が、試着シミュレーション要求であった場合、ステップ S 9 に進む。処理要求が取引要求であった場合、ステップ S 1 0 に進む。

【 0 0 3 9 】

ステップ S 7 :

利用者の新規登録処理等である顧客情報管理処理を行う。この詳細については後述する。

【 0 0 4 0 】

ステップ S 8 :

利用者に対する商品紹介である商品紹介処理を行う。この詳細については後述する。

【 0 0 4 1 】

ステップ S 9 :

利用者が選択した商品に関する試着シミュレーション処理を行う。この詳細については後述する。

【 0 0 4 2 】

ステップ S 1 0 :

利用者が選択した商品の購入処理、試着予約処理等の注文受付処理を行う。この詳細については後述する。

【 0 0 4 3 】

図 9 及び図 1 0 は、販売支援システム 1 の一連の処理動作において、端末装置 3 0 に表示される表示画面の画面フローを例示した図である。ここで、図 1 0 の ( a ) は、商品の購入処理時における表示画面を例示した図であり、図 1 0 の ( b ) は、商品の試着予約処理時における表示画面を例示した図である。

【 0 0 4 4 】

〔ホームページ画面 4 0 〕

図 8 に示したフローチャートのステップ S 1 の処理において、利用者が、販売支援装置 1 0 にアクセスした際、最初に表示される画面であり、利用者を認証するために必要な I D、パスワード入力、処理要求入力等を行う画面である。この詳細については後述する。

【 0 0 4 5】

〔商品選択画面 5 0〕

図 8 に示したフローチャートのステップ S 8 の処理において、購入を希望する商品の選択を行う際に表示される画面である。この詳細については後述する。

【 0 0 4 6】

〔初期条件設定画面 6 0〕

図 8 に示したフローチャートのステップ S 9 の処理において、利用者が、試着シミュレーションの初期条件を設定する際に表示される画面である。この詳細については、後述する。

【 0 0 4 7】

〔条件変更入力画面 7 0〕

図 8 に示したフローチャートのステップ S 9 の処理において、利用者が、試着シミュレーションの条件を変更する際に表示される画面である。この詳細については、後述する。

【 0 0 4 8】

〔シミュレーション結果表示画面 8 0〕

図 8 に示したフローチャートのステップ S 9 の処理において、試着シミュレーションの結果が表示される画面である。この詳細については、後述する。

【 0 0 4 9】

なお、このシミュレーション結果表示画面 8 0 の表示後、利用者は、試着シミュレーションの条件を変更することが可能であり、ここで、条件の変更を行う場合、再び、条件変更入力画面 7 0 の表示が行われる。

【 0 0 5 0】

一方、条件の変更を行わない場合、利用者は、選択した商品の取引処理を選択することが可能であり、ここで、商品の取引処理として、商品の購入処理を行う



場合、以下の、購入注文入力画面 9 0、購入内容確認画面 1 0 0、購入注文受付結果画面 1 1 0 が表示され、一方、商品の試着予約処理を行う場合、以下の、試着予約入力画面 1 2 0、予約内容確認画面 1 3 0、試着予約受付結果画面 1 4 0 が表示される。

【 0 0 5 1 】

〔購入注文入力画面 9 0〕

図 8 に示したフローチャートのステップ S 1 0 の処理において、商品の購入手続きを行う際に表示される画面である。この詳細については、後述する。

【 0 0 5 2 】

〔購入内容確認画面 1 0 0〕

図 8 に示したフローチャートのステップ S 1 0 の処理において、利用者が、入力した購入手続きの内容を確認する際に表示される画面である。この詳細については、後述する。

【 0 0 5 3 】

〔購入注文受付結果画面 1 1 0〕

図 8 に示したフローチャートのステップ S 1 0 の処理において、購入手続きの受付結果を表示する画面である。この詳細については、後述する。

【 0 0 5 4 】

〔試着予約入力画面 1 2 0〕

図 8 に示したフローチャートのステップ S 1 0 の処理において、利用者が、試着予約手続きを行う際に表示される画面である。この詳細については、後述する。

【 0 0 5 5 】

〔予約内容確認画面 1 3 0〕

図 8 に示したフローチャートのステップ S 1 0 の処理において、利用者が、入力した試着予約手続きの内容を確認する際に表示される画面である。この詳細については、後述する。

【 0 0 5 6 】

〔試着予約受付結果画面 1 4 0〕

図 8 に示したフローチャートのステップ S 1 0 の処理において、試着予約手続きの受付結果を表示する画面である。この詳細については、後述する。

【 0 0 5 7 】

次に、各処理の詳細を、各詳細表示画面を示しながら説明していく。

図 1 1 は、ホームページ画面 4 0 の詳細を例示した図である。

図 1 1 に示すように、ホームページ画面 4 0 は、例えば、利用者が販売支援システム 1 利用のための新規登録要求を行う際にクリックする新規登録手続き欄 4 0 a、利用者認証を行うために利用者の ID を入力する ID 入力欄 4 0 b、同じくパスワードを入力するパスワード入力欄 4 0 c、利用者本人の商品を選択するのか、利用者の家族の商品を選択するのか、使用者の友人の商品を選択するのか等を選択する利用者選択欄 4 0 d、商品選択要求を行う際にクリックする商品選択ボタン 4 0 e、及び試着シミュレーション処理要求を行う際にクリックする試着シミュレーション選択ボタン 4 0 f を有している。

【 0 0 5 8 】

まず、販売支援システム 1 利用のための新規登録手続きについて説明する。

新規登録手続きを行おうとする利用者は、端末装置 3 0 に表示されたホームページ画面 4 0 の新規登録手続き欄 4 0 a をクリックし、ネットワーク 2 0 を介し、販売支援装置 1 0 に新規登録要求を送信する。この新規登録要求を受けた販売支援装置 1 0 は、顧客情報処理手段 1 5 を用い、図 8 のステップ S 7 に示した顧客情報管理処理を行う。

【 0 0 5 9 】

図 1 2 は、この顧客情報管理処理の詳細を説明するためのフローチャートであり、図 8 に示したフローチャートのステップ S 7 の詳細を示している。

ステップ S 1 1 :

顧客情報処理手段 1 5 によって、ネットワーク 2 0 を介し、利用者が新規登録に必要な事項を入力するための会員登録画面を端末装置 3 0 に送信する。送信された会員登録画面は、端末装置 3 0 の表示装置等に表示される。

【 0 0 6 0 】

図 1 3 は、このように端末装置 3 0 の表示装置等に表示された会員登録画面 4

1 を例示した図である。

図 1 3 に示すように、会員登録画面 4 1 は、例えば、利用者が販売支援装置 1 0 にアクセスする際に行われる認証処理時に入力する I D の設定入力を行う I D 入力欄 4 1 a、同じくパスワードの設定入力を行うパスワード入力欄 4 1 b、入力されたパスワードの内容を再確認するため、パスワード入力欄 4 1 b に設定入力したパスワードを再入力するパスワード確認欄 4 1 c、利用者の氏名、性別、婚姻、生年月日、家族情報、郵便番号、自宅住所等の利用者情報を入力する利用者情報入力欄 4 1 d、利用者の趣味、好みのファッション情報等を入力する趣味情報等入力欄 4 1 e、利用者の身長、体重、体型パターン等の体型情報を入力する体型情報入力欄 4 1 f、入力内容を確定し、登録処理を行う際にクリックする登録ボタン 4 1 h、及び入力内容を取り消す際にクリックする取消ボタン 4 1 i によって構成されている。

#### 【 0 0 6 1 】

利用者は、このように表示された会員登録画面 4 1 に対し、I D、パスワードの設定入力、利用者情報、趣味情報、ファッション情報、体型情報等の登録情報を入力し、登録ボタン 4 1 h をクリックする。これにより、入力された登録情報は、ネットワーク 2 0 を介し、販売支援装置 1 0 に送信される。また、この際、登録情報として、利用者の顔写真等の画像情報も併せて送信する。

#### 【 0 0 6 2 】

ステップ S 1 2 :

販売支援装置 1 0 において、送信された登録情報を受信したか否か判断する。ここで、登録情報を受信したと判断した場合、ステップ S 1 3 に進む。登録情報を受信していない場合、ステップ S 1 2 に留まり、登録情報の受信待ちを行う。

#### 【 0 0 6 3 】

ステップ S 1 3 :

受信した登録情報を顧客情報格納手段 1 6 に格納する。具体的には、I D、パスワード、利用者情報、趣味情報、ファッション情報、体型情報等の登録情報を会員情報レコード DB 1 6 a に、顔写真等の画像情報の登録情報を顔写真イメージ DB 1 6 b に格納する。

## 【 0 0 6 4 】

次に、販売支援システム 1 における商品紹介処理について説明する。

既に上述の新規登録手続きを行い、販売支援装置 1 0 からの商品紹介を受けようとする利用者は、端末装置 3 0 を用い、図 1 1 に示したホームページ画面 4 0 における I D 入力欄 4 0 b に自己の I D を、パスワード入力欄 4 0 c に自己のパスワードを、それぞれ入力し、利用者選択欄 4 0 d における選択を行った後、商品選択ボタン 4 0 e をクリックする。これにより、これらの情報は、ネットワーク 2 0 を介して販売支援装置 1 0 に送信され、これらの情報を受け取った販売支援装置 1 0 は、商品紹介処理手段 1 1 を用い、図 8 のステップ S 8 に示した商品紹介処理を行う。

## 【 0 0 6 5 】

図 1 4 は、この商品紹介処理を説明するためのフローチャートであり、図 8 に示したフローチャートのステップ S 9 の詳細を示している。

ステップ S 2 0 :

販売支援装置 1 0 が受け取った I D、パスワードによる認証処理の後、ホームページ画面 4 0 の利用者選択欄 4 0 d の入力内容により、アクセスを行った利用者本人に対する推奨商品の紹介を行うのか、その本人以外に対する推奨商品の紹介を行うのかを判断する。ここでの判断は、商品紹介処理手段 1 1 によって行われ、ここで、利用者本人に対する推奨商品の紹介を行うことが判断された場合、ステップ S 2 1 に進む。一方、利用者以外の者に対する推奨商品の紹介を行うことが判断された場合、ステップ S 2 2 に進む。

## 【 0 0 6 6 】

ステップ S 2 1 :

受け取った I D をもとに、顧客情報格納手段 1 6 に格納された会員情報レコード DB 1 6 a から、利用者本人の会員情報の抽出を行う。

## 【 0 0 6 7 】

ステップ S 2 2 :

受け取った I D をもとに、顧客情報格納手段 1 6 に格納された会員情報レコード DB 1 6 a から、利用者の家族、友人等の会員情報の抽出を行う。

## 【 0 0 6 8 】

ステップ S 2 3 :

ステップ S 2 1 或いはステップ S 2 2 において抽出された利用者本人或いは利用者の家族、友人等の会員情報をもとに、商品紹介処理手段 1 1 によって、商品紹介情報格納手段 1 2 に格納された商品紹介情報レコード D B 1 2 a から、その利用者本人等の年齢層、趣味等に相応しい商品紹介情報の抽出を行う。

## 【 0 0 6 9 】

次に、抽出された商品紹介情報は、商品紹介処理手段 1 1 によって、お薦め商品案内として編集され、そのように編集されたお薦め商品案内をもとに、商品選択画面の編集が行われる。このように生成された商品選択画面は、ネットワーク 2 0 を介して端末装置 3 0 に送信され、端末装置 3 0 の表示装置等に表示される。

## 【 0 0 7 0 】

図 1 5 は、このように端末装置 3 0 の表示装置等に表示された商品選択画面 5 0 を例示した図である。

図 1 5 に示すように、商品選択画面 5 0 は、例えば、お薦め商品案内が表示され、利用者がその選択を行うことが可能な商品選択欄 5 0 a、希望するファッションスタイルを入力するファッションスタイル選択欄 5 0 b、希望するカテゴリを選択するカテゴリ選択欄 5 0 c、ホームページ画面に戻る際にクリックするホームページ選択ボタン 5 0 d、商品選択欄 5 0 a において選択した商品の試着シミュレーションを行う際にクリックする試着シミュレーション選択ボタン 5 0 e によって構成されている。

## 【 0 0 7 1 】

利用者は、まず、ファッションスタイル選択欄 5 0 b、カテゴリ選択欄 5 0 c をクリックし、希望のファッションスタイル及びカテゴリの選択を行う。商品選択欄 5 0 a には、この選択に応じた推奨商品が表示され、利用者は表示された推奨商品から希望する商品を選択し、商品選択欄 5 0 a への選択入力を行う。その後、選択した商品の試着シミュレーションを希望する場合には、試着シミュレーション選択ボタン 5 0 e をクリックする。

## 【0072】

次に、販売支援システム1における試着シミュレーション処理について説明する。

前述のホームページ画面40の試着シミュレーション選択ボタン40f、或いは商品選択画面50の試着シミュレーション選択ボタン50eがクリックされると、それらの情報は、ネットワーク20を介し、販売支援装置10に送信され、それらの情報を受け取った販売支援装置10は、図8のステップS9に示した試着シミュレーション処理を行う。

## 【0073】

図16及び図17は、この試着シミュレーション処理を説明するためのフローチャートであり、図8に示したフローチャートのステップS9の詳細を示している。

## 【0074】

ステップS30：

図15に示した商品選択画面50の商品選択欄50aに入力され、選択された商品の情報である試着商品選択情報は、ネットワーク20を介し、販売支援装置10に送信される。試着シミュレーション処理手段13は、シミュレーションイニシャル処理として、送信された試着商品選択情報を試着シミュレーション情報格納手段14の管理レコードDB14aに格納する。

## 【0075】

ステップS31：

利用者が会員であるか否か判断する。この判断は、図11に示したホームページ画面40のID入力欄40b、パスワード入力欄40cにおいて入力されたID、パスワードを認証することによって行われ、ここで、会員であると判断された場合、ステップS32に進む。会員でないと判断された場合、ステップS34に進む。

## 【0076】

ステップS32：

顧客情報処理手段15によって、顧客情報格納手段16に格納された当該利用

者の会員情報レコードDB16aを読み込み、試着シミュレーション処理手段13によって、読み込んだ会員情報レコードDB16aに示される体型タイプに適合した被写体ひな型の画像情報を、試着シミュレーション情報格納手段14に格納された被写体ひな型DB14bから読み込む。

【0077】

ステップS33：

顧客情報処理手段15によって、顧客情報格納手段16に格納された当該利用者の顔写真イメージDB16bを読み込み、読み込まれた当該利用者の顔写真情報、及びステップS32で読み込まれた被写体ひな型の画像情報を用い、試着シミュレーション処理手段13によって、顔写真付き被写体画像を生成する顔写真付き被写体イメージ編集加工処理を行う。生成された顔写真付き被写体画像は、試着シミュレーション情報格納手段14に格納されたシミュレーションイメージ格納DB14cに格納される。

【0078】

ステップS34：

利用者が会員登録を希望するか否かを判断する。この判断は、例えば、ネットワーク20を介し、利用者に会員登録の希望の有無を問い合わせ、その問い合わせに対する回答に応じて行われる。ここで、会員登録を行うと判断された場合、ステップS35に進む。一方、会員登録を行わないと判断された場合、ステップS36に進む。

【0079】

ステップS35：

図12のフローチャートを用いて説明した顧客情報管理を行い、新規会員登録を行う。

【0080】

ステップS36：

試着シミュレーション処理手段13によって、試着シミュレーション情報格納手段14の被写体ひな型DB14bから標準被写体ひな型の画像情報を読み込み、顧客情報処理手段15によって、顧客情報格納手段16に格納された顔写真イ

メージDB 1 6 b から標準顔写真画像情報を読み込む。さらに、読み込まれた標準被写体ひな型の画像情報、及び標準顔写真画像情報を用い、顔写真付き被写体画像を生成する。生成された顔写真付き被写体画像は、試着シミュレーション情報格納手段 1 4 に格納されたシミュレーションイメージ格納DB 1 4 c に格納される。なお、ここで、試着シミュレーション処理手段 1 3 によって、被写体ひな型DB 1 4 b から標準被写体ひな型の画像情報を、顔写真イメージDB 1 6 b から標準顔写真画像情報を、それぞれ読み込むこととしたが、利用者によって指定された体型の被写体ひな型の画像情報、利用者によって選択されたタレント等の顔写真を読み込むこととしてもよい。また、利用者の年齢、属性情報に基づき、タレント等の顔写真を読み込むこととしてもよい。

## 【 0 0 8 1 】

## ステップ S 3 7 :

ステップ S 3 0 において試着シミュレーション情報格納手段 1 4 の管理レコードDB 1 4 a に格納した試着商品選択情報を読み込み、さらに、商品紹介処理手段 1 1 によって、読み込まれた試着商品選択情報により特定される商品の商品画像情報を、商品紹介情報格納手段 1 2 に格納された商品イメージDB 1 2 c から読み込む。

## 【 0 0 8 2 】

また、読み込まれた商品画像情報、及びステップ S 3 3 或いはステップ S 3 6 で生成された顔写真付き被写体画像を用い、選択された商品をこの被写体に擬似的に試着させた試着シミュレーション画像を生成する。生成された試着シミュレーション画像は、試着イメージ格納DB 1 4 d に格納される。

## 【 0 0 8 3 】

## ステップ S 3 8 :

試着シミュレーション処理手段 1 3 によって、ステップ S 3 7 で生成された試着シミュレーション画像を用いて初期条件設定画面を編集し、このように生成された初期条件設定画面を、ネットワーク 2 0 を介し、端末装置 3 0 に送信する。

## 【 0 0 8 4 】

端末装置 3 0 に送信された初期条件設定画面は、端末装置 3 0 の表示装置等に



表示され、利用者によって閲覧される。

図 1 8 は、このように端末装置 3 0 に表示された初期条件設定画面 6 1 を例示した図である。

【 0 0 8 5 】

図 1 8 に示すように、初期条件設定画面 6 1 は、例えば、試着選択商品、ファッションスタイル、試着モード等の試着シミュレーションの条件を表示する条件表示欄 6 1 a、試着モードの再設定を行う際に試着モードの入力を行う試着モード入力欄 6 1 b、試着モードを変更する際、その変更後の試着対象者の体型を入力する体型入力欄 6 1 c、その身長を入力する身長入力欄 6 1 d、試着シミュレーションを行う商品の商品構成を変更する際にクリックする商品選択ボタン 6 1 f、被写体の体型を変更する際にクリックする体型変更ボタン 6 1 g、及び、購入しようとする商品を一旦保留しておく際にクリックする注文カートボタン 6 1 h を有している。

【 0 0 8 6 】

利用者は、このように表示された初期条件設定画面 6 1 を閲覧し、試着モード入力欄 6 1 b、商品選択ボタン 6 1 f、体型変更ボタン 6 1 g への入力処理等を行い、その内容を、ネットワーク 2 0 を介し、販売支援装置 1 0 に送信することにより、試着モードの変更要求、商品構成変更要求、体型変更要求等を行う。

【 0 0 8 7 】

また、選択した商品の購入、実際の店舗での試着予約等を希望する場合には、注文カートボタン 6 1 h をクリックする。これにより、選択された商品の注文カート情報は、ネットワーク 2 0 を介し、販売支援装置 1 0 に送信され、取引情報格納手段 1 8 に格納された注文カート情報 DB 1 8 a に格納される。

【 0 0 8 8 】

ステップ S 3 9 :

端末装置 3 0 から送信された試着モードの変更要求、商品構成変更要求、体型変更要求等の処理要求の受信待ちを行い、それらの処理要求が送信された時点で、その処理要求を受信する。

【 0 0 8 9 】

## ステップ S 4 0 :

処理要求が、試着モードの変更要求或いは体型変更要求であったか否か判断する。ここで、処理要求が、試着モードの変更要求或いは体型変更要求であった場合、ステップ S 4 1 に進む。試着モードの変更要求でも、体型変更要求でもなかった場合ステップ S 4 3 に進む。

## 【 0 0 9 0 】

## ステップ S 4 1 :

試着モードの変更要求、体型変更要求に従い、被写体の変更シミュレーション処理を行う。ここで変更シミュレーション処理とは、試着シミュレーション処理手段 1 3 によって行われるシミュレーションイメージ格納 DB 1 4 c に格納された被写体の加工修正、及び修正された被写体をもとに生成された試着シミュレーション画像の試着イメージ格納 DB 1 4 d への格納処理のことである。なお、ここでの被写体の加工修正は、処理要求が試着モードの変更要求であった場合、初期条件設定画面 6 1 の体型入力欄 6 1 c 及び身長入力欄 6 1 d に入力された情報をもとに行われ、また、処理要求が体型変更要求であった場合、以下のように利用者によって指定された条件に応じて行われる。

## 【 0 0 9 1 】

図 1 9 は、処理要求が体型変更要求であった場合、利用者が体型変更の条件を入力する条件変更入力画面 7 1 を例示した図である。

図 1 9 に示すように、条件変更入力画面 7 1 は、例えば、試着シミュレーションの条件を示す条件表示欄 7 1 a、変更後の体型タイプを入力する体型入力欄 7 1 b、変更後の身長を入力する身長入力欄 7 1 c、試着シミュレーション画像が表示される試着イメージ表示欄 7 1 d、及び変更された条件に従って試着シミュレーションを行う際にクリックする試着シミュレーション実行ボタン 7 1 e によって構成され、販売支援装置 1 0 から、ネットワーク 2 0 を介して端末装置 3 0 に送信され、端末装置 3 0 の表示装置等に表示される。

## 【 0 0 9 2 】

利用者は、体型入力欄 7 1 b 等に変更後の体型タイプ等の体型変更条件を入力し、試着シミュレーション実行ボタン 7 1 e をクリックする。これにより、入力

された体型変更条件は、ネットワーク 20 を介して販売支援装置 10 に送信され、試着シミュレーション処理手段 13 は、送信された情報をもとに被写体の加工修正を行う。

【0093】

ステップ S42:

ステップ S41 において生成された試着シミュレーション画像を用いて生成されたシミュレーション結果表示画面を、ネットワーク 20 を介し、端末装置 30 に送信する。

【0094】

図 20 は、このように端末装置 30 に送信され、端末装置 30 の表示装置等によって表示されたシミュレーション結果表示画面 81 を例示した図である。

図 20 に示すように、シミュレーション結果表示画面 81 は、例えば、試着選択商品、ファッションスタイル、試着モード、変更モード選択、体型選択、身長入力内容等の試着シミュレーションの条件を示した条件表示部 81a、修正された被写体をもとに生成された試着シミュレーション画像を表示する試着イメージ表示欄 81b、試着シミュレーションを行う商品の商品構成を変更する際にクリックする商品選択ボタン 81c、被写体の体型を変更する際にクリックする体型変更ボタン 81d、及び、購入しようとする商品を一旦保留しておく際にクリックする注文カートボタン 81e を有している。

【0095】

利用者は、この試着イメージ表示欄 81b に表示された試着シミュレーション画像を閲覧した後、別の商品構成で試着シミュレーションを行いたい場合には、商品選択ボタン 81c を、被写体の体型を変形させて試着シミュレーションを行いたい場合には、体型変更ボタン 81d を、それぞれクリックする。

【0096】

また、選択した商品の購入、実際の店舗での試着予約等を希望する場合には、注文カートボタン 81e をクリックする。これにより、選択された商品の注文カート情報は、ネットワーク 20 を介し、販売支援装置 10 に送信され、取引情報格納手段 18 に格納された注文カート情報 DB に格納される。

## 【 0 0 9 7 】

## ステップ S 4 3 :

処理要求が、商品構成変更要求であったか否か判断する。ここで、処理要求が商品構成変更要求であった場合、ステップ S 4 4 に進む。処理要求が商品構成変更要求でなかった場合、ステップ S 4 5 に進む。

## 【 0 0 9 8 】

## ステップ S 4 4 :

商品構成変更要求に従い、試着シミュレーション処理手段 1 3 によって、商品構成変更シミュレーション処理を行う。ここで、商品構成変更シミュレーション処理とは、商品構成変更要求に基づき、利用者によって選択された変更後の商品構成の画像情報を商品イメージ DB 1 2 c から読み込み、読み込んだ商品の画像情報をもとに試着イメージ編集加工処理を行い、その結果物である試着シミュレーション画像情報をシミュレーションイメージ格納 DB 1 4 c に格納する処理である。

## 【 0 0 9 9 】

図 2 1 は、商品構成変更要求に基づき、利用者が、変更後の商品を選択する際に端末装置 3 0 に表示される条件変更入力画面 7 2 を例示した図である。

図 2 1 に示すように、条件変更入力画面 7 2 は、例えば、試着シミュレーションの条件を示す条件表示欄 7 2 a、変更後の商品構成を選択する商品構成選択欄 7 2 b、試着シミュレーション画像情報を表示する試着イメージ表示欄 7 2 c、商品内容を参照する際にクリックする商品説明参照ボタン 7 2 d、商品の再選択を行う際にクリックする商品選択ボタン 7 2 e、及び試着シミュレーションを行う際にクリックする試着シミュレーション実行ボタン 7 2 f を有している。

## 【 0 1 0 0 】

利用者は、例えば、商品選択ボタン 7 2 e をクリックすることによって表示される図 1 5 に示した商品選択画面 5 0 を用いて商品の再選択を行い、又は、商品説明参照ボタン 7 2 d をクリックして商品内容の確認を行い、又は、商品構成選択欄 7 2 b への入力処理等により商品構成の再選択を行い、その後、試着シミュレーション実行ボタン 7 2 f をクリックすることにより、その選択情報を、ネッ

トワーク 2 0 を介し、販売支援装置 1 0 に送信する。

【 0 1 0 1 】

ステップ S 4 5 :

ステップ S 4 4 において生成された試着シミュレーション画像を用いて生成されたシミュレーション結果表示画面を、ネットワーク 2 0 を介し、端末装置 3 0 に送信する。

【 0 1 0 2 】

図 2 2 は、このように端末装置 3 0 に送信され、端末装置 3 0 の表示装置等によって表示されたシミュレーション結果表示画面 8 2 を例示した図である。

図 2 2 に示すように、シミュレーション結果表示画面 8 2 は、例えば、試着選択商品、ファッションスタイル、試着モード、体型選択、身長入力内容、変更商品等の試着シミュレーションの条件を示した条件表示部 8 2 a、商品構成を修正する際にクリックする商品構成選択欄 8 2 b、修正された商品構成において生成された試着シミュレーション画像を表示する試着イメージ表示欄 8 2 c、試着シミュレーションを行う商品の商品構成を変更する際にクリックする商品選択ボタン 8 2 d、被写体の体型を変更する際にクリックする体型変更ボタン 8 2 e、選択した商品の購入注文処理を行う際にクリックする購入注文ボタン 8 2 f、選択した商品の実際の店舗における試着予約を行う際にクリックする試着予約ボタン 8 2 g 及び、購入しようとする商品を一旦保留しておく際にクリックする注文カートボタン 8 2 h を有している。

【 0 1 0 3 】

利用者は、この試着イメージ表示欄 8 2 c に表示された試着シミュレーション画像を閲覧した後、別の商品構成で試着シミュレーションを行いたい場合には、商品選択ボタン 8 2 d を、被写体の体型を変形させて試着シミュレーションを行いたい場合には、体型変更ボタン 8 2 e を、選択した商品の購入注文を行いたい場合には、購入注文ボタン 8 2 f を、選択した商品の試着予約を行いたい場合には、試着予約ボタン 8 2 g を、それぞれクリックする。また、例えば、ネクタイの色等の端末装置 3 0 上のみで修正が可能な項目については、商品構成選択欄 8 2 b への入力処理を行うことによって修正が可能であり、その修正内容は、試着

イメージ表示欄 8 2 c に表示される試着シミュレーション画像に反映される。

【 0 1 0 4 】

また、選択した商品の購入、実際の店舗での試着予約等を希望する場合には、注文カートボタン 8 2 h をクリックする。これにより、選択された商品の注文カート情報は、ネットワーク 2 0 を介して販売支援装置 1 0 に送信され、取引情報格納手段 1 8 に格納された注文カート情報 DB 1 8 a に格納される。

【 0 1 0 5 】

次に、販売支援システム 1 における注文受付処理について説明する。

上述のシミュレーション結果表示画面 8 2 において、購入注文ボタン 8 2 f 或いは試着予約ボタン 8 2 g がクリックされると、その情報は、ネットワーク 2 0 を介し、販売支援装置 1 0 に送信され、その情報を受け取った販売支援装置 1 0 は、図 8 のステップ S 1 0 に示した注文受付処理を行う。

【 0 1 0 6 】

図 2 3 は、この注文受付処理を説明するためのフローチャートであり、図 8 に示したフローチャートのステップ S 1 0 の詳細を示している。

ステップ S 5 0 :

販売支援装置 1 0 が購入注文を受け付けたか否か判断する。ここでの購入注文は、上述の購入注文ボタン 8 2 f がクリックされ、その情報が、ネットワーク 2 0 を介し、販売支援装置 1 0 に送信されることによって行われ、販売支援装置 1 0 は、その送信内容によって、購入注文の受付の有無を判断する。

【 0 1 0 7 】

ここで、購入注文を受け付けたと判断された場合、ステップ S 5 1 に進む。購入注文を受け付けていないと判断された場合、ステップ S 5 4 に進む。

ステップ S 5 1 :

購入注文入力処理を行う。購入注文入力処理では、まず、取引処理手段 1 7 によって、取引情報格納手段 1 8 に格納された注文カート情報 DB 1 8 a から、当該取引に関する注文カート情報を読み込み、読み込んだ注文カート情報を用い、購入注文入力画面の編集を行う。購入注文入力画面とは、利用者が購入注文に必要な情報を入力するための画面であり、このように編集された購入注文入力画面

は、ネットワーク 2 0 を介して、端末装置 3 0 に送信され、端末装置 3 0 の表示装置等によって表示される。また、このような購入注文入力画面を送信した販売支援装置 1 0 は、それに対する購入入力待ちを行う。

#### 【0 1 0 8】

図 2 4 は、このように端末装置 3 0 の表示装置等に表示される購入注文入力画面 9 0 を例示した図である。

図 2 4 に示すように、購入注文入力画面 9 0 は、例えば、注文カート情報に示される商品を表示し、購入注文を行う商品の選択入力を行う商品選択欄 9 0 a、商品選択欄 9 0 a に表示された商品に係る注文カート情報を注文カート情報 D B 1 8 a から削除する際にクリックする削除ボタン 9 0 b、9 0 c、商品の購入代金の支払い方法を指定する支払い方法指定欄 9 0 d、入力内容を決定する際にクリックする購入入力ボタン 9 0 e、及び入力内容を取り消す際にクリックする取消ボタン 9 0 f によって構成されている。

#### 【0 1 0 9】

利用者は、商品選択欄 9 0 a に表示された商品から、購入注文処理を行う商品を選択し、選択した商品を特定するための入力処理を行う。その後、支払い方法指定欄 9 0 d への入力によって、購入した商品の支払い方法を特定し、購入入力ボタン 9 0 e をクリックする。これにより、商品選択欄 9 0 a への入力処理によって選択された商品の購入注文の情報が、ネットワーク 2 0 を介し、販売支援装置 1 0 に送信される。

#### 【0 1 1 0】

ステップ S 5 2 :

購入注文確認入力処理を行う。購入注文確認入力処理では、まず、取引処理手段 1 7 によって、端末装置 3 0 から送信された購入注文の情報をを用い、入力された購入注文の内容を確認するための購入内容確認画面を編集する。このように編集された購入内容確認画面は、ネットワーク 2 0 を介し、端末装置 3 0 に送信されて、その表示装置等に表示され、販売支援装置 1 0 は、それに対する購入実行入力待ちを行う。

#### 【0 1 1 1】

図 2 5 は、このように端末装置 3 0 の表示装置等に表示された購入内容確認画面 1 0 0 を例示した図である。

図 2 5 に示すように、購入内容確認画面 1 0 0 は、例えば、購入注文を行うものとして選択された商品等を表示する購入内容表示欄 1 0 0 a、購入代金の支払い方法を表示する支払い方法表示欄 1 0 0 b、購入を実行する際にクリックする購入実行ボタン 1 0 0 c、及び購入内容を取り消す際にクリックする取消ボタン 1 0 0 d を有している。

#### 【 0 1 1 2 】

利用者は、表示された購入内容確認画面 1 0 0 を閲覧し、その内容で間違いがないと判断した場合、購入実行ボタン 1 0 0 c をクリックし、購入処理を実行する。これにより、この購入実行の情報が、ネットワーク 2 0 を介し、販売支援装置 1 0 に送信される。

#### 【 0 1 1 3 】

ステップ S 5 3 :

購入注文実行処理を行う。購入注文実行処理では、まず、端末装置 3 0 から送信された購入注文に関する情報をもとに購入注文情報を生成し、購入注文レコード DB 1 8 b に格納する。その後、購入注文を受け付けた旨を利用者に通知する購入注文受付結果画面を編集し、ネットワーク 2 0 を介して、端末装置 3 0 に送信する。端末装置 3 0 に送信された購入注文受付結果画面は、端末装置 3 0 の表示装置等に表示され、利用者によって、その内容が閲覧される。

#### 【 0 1 1 4 】

図 2 6 は、このように端末装置 3 0 の表示装置等に表示された購入注文受付結果画面 1 1 0 を例示した図である。

図 2 6 に示すように、購入注文受付結果画面 1 1 0 は、例えば、顧客氏名、顧客番号、取引受付コード、購入商品、ファッションスタイル、購入金額、数量、納入予定日等の購入注文内容を表示する購入注文内容表示欄 1 1 0 a、及び、その試着シミュレーション画像を表示する試着イメージ表示欄 1 1 0 b を有している。

#### 【 0 1 1 5 】



## ステップ S 5 4 :

販売支援装置 1 0 が試着予約を受け付けたか否か判断する。ここでの試着予約は、図 2 2 に示したシミュレーション結果表示画面 8 2 の試着予約ボタン 8 2 g がクリックされ、その情報が、ネットワーク 2 0 を介し、販売支援装置 1 0 に送信されることによって行われ、販売支援装置 1 0 は、その送信内容によって、試着予約の受付の有無を判断する。

## 【 0 1 1 6 】

ここで、試着予約を受け付けたと判断された場合、ステップ S 5 5 に進む。購入注文を受け付けていないと判断された場合、処理を終了する。

## ステップ S 5 5 :

試着予約入力処理を行う。試着予約入力処理では、まず、取引処理手段 1 7 によって、取引情報格納手段 1 8 に格納された注文カート情報 DB 1 8 a から、当該取引に関する注文カート情報を読み込み、読み込んだ注文カート情報を用い、試着予約入力画面の編集を行う。試着予約入力画面とは、利用者が選択した商品を実際の店舗において試着する際の試着予約に必要な情報を入力するための画面であり、このように編集された試着予約入力画面は、ネットワーク 2 0 を介して、端末装置 3 0 に送信され、端末装置 3 0 の表示装置等によって表示される。また、このような試着予約入力画面を送信した販売支援装置 1 0 は、それに対する予約入力待ちを行う。

## 【 0 1 1 7 】

図 2 7 は、このように端末装置 3 0 の表示装置等に表示される試着予約入力画面 1 2 0 を例示した図である。

図 2 7 に示すように、試着予約入力画面 1 2 0 は、例えば、注文カート情報に示される商品を表示し、試着予約を行う商品の選択入力を行う商品選択欄 1 2 0 a、商品選択欄 1 2 0 a に表示された商品に係る注文カート情報を注文カート情報 DB 1 8 a から削除する際にクリックする削除ボタン 1 2 0 b、1 2 0 c、試着予約を行う店舗、試着希望日等の予約条件を入力する予約条件入力欄 1 2 0 d、入力内容を決定する際にクリックする予約入力ボタン 1 2 0 e、及び入力内容を取り消す際にクリックする取消ボタン 1 2 0 f によって構成されている。

## 【0118】

利用者は、商品選択欄120aに表示された商品から、試着予約処理を行う商品を選択し、選択した商品を特定するための入力処理を行う。また、試着を行う店舗、試着希望日等の予約条件を予約条件入力欄120dに入力し、その後、予約入力ボタン120eをクリックする。これにより、入力された試着予約に関する情報が、ネットワーク20を介し、販売支援装置10に送信される。

## 【0119】

ステップS56：

試着予約確認入力処理を行う。試着予約確認入力処理では、まず、取引処理手段17によって、端末装置30から送信された試着予約の情報を扱い、入力された試着予約の内容を確認するための予約内容確認画面を編集する。このように編集された予約内容確認画面は、ネットワーク20を介し、端末装置30に送信されて、その表示装置等に表示され、販売支援装置10は、それに対する予約実行入力待ちを行う。

## 【0120】

図28は、このように端末装置30の表示装置等に表示された予約内容確認画面130を例示した図である。

図28に示すように、予約内容確認画面130は、例えば、試着予約を行うものとして選択された商品等を表示する試着対象表示欄130a、試着店舗、試着希望日等の予約条件を表示する予約内容表示欄130b、予約を実行する際にクリックする予約実行ボタン130c、及び予約内容を取り消す際にクリックする取消ボタン130dを有している。

## 【0121】

利用者は、表示された予約内容確認画面130を閲覧し、その内容で間違いがないと判断した場合、予約実行ボタン130cをクリックし、予約処理の実行を行う。これにより、この予約実行の情報が、ネットワーク20を介し、販売支援装置10に送信される。

## 【0122】

ステップS57：

試着予約実行処理を行う。試着予約実行処理では、まず、端末装置 3 0 から送信された試着予約に関する情報をもとに試着予約取引データを生成し、試着予約レコード DB 1 8 c に格納する。その後、試着予約を受け付けた旨を利用者に通知する試着予約受付結果画面を編集し、ネットワーク 2 0 を介して、端末装置 3 0 に送信する。端末装置 3 0 に送信された試着予約受付結果画面は、端末装置 3 0 の表示装置等に表示され、利用者によって、その内容が閲覧される。

#### 【 0 1 2 3 】

図 2 9 は、このように端末装置 3 0 の表示装置等に表示された試着予約受付結果画面 1 4 0 を例示した図である。

図 2 9 に示すように、試着予約受付結果画面 1 4 0 は、例えば、顧客氏名、顧客番号、予約受付コード、試着予約商品、試着予約店舗、試着予定日等の試着予約内容を表示する試着予約内容表示欄 1 4 0 a、及び、その試着シミュレーション画像を表示する試着イメージ表示欄 1 4 0 b を有している。

#### 【 0 1 2 4 】

なお、この試着予約受付結果画面 1 4 0 において、試着予約内容を示す試着予約票を発行することとしてもよい。この場合、例えば、この試着予約票には、予約番号等を示すバーコードを表示することとし、利用者は、この試着予約票を、試着を行う店舗に持参し、店舗では、このバーコードをバーコードリーダーで読み込むことにより予約内容を確認し、利用者に対する試着サービスを行う。また、この際、店舗に設置された印刷装置によるプリントアウト等により、試着シミュレーションの内容を閲覧できる構成としてもよい。

#### 【 0 1 2 5 】

次に、販売支援システム 1 の具体的な運用例について説明する。

図 3 0 及び図 3 1 は、販売支援システム 1 の具体的な運用例を例示した図である。

#### 【 0 1 2 6 】

図 3 0 の運用例では、サイト運営事業者 1 5 2 が、販売支援装置 1 0 の運営を行い、顧客である利用者 1 5 1 と商品販売事業者 1 5 3 との商取引の仲介業務を行う。

## 【0127】

商品の購入を希望する利用者151は、その利用者151が使用する端末装置30を用い、サイト運営事業者152が運営する販売支援装置10のサイトへの接続を行う(1)。利用者151は、上述した手順に応じ、商品の選択を行い、その試着シミュレーションを行う(2)。その後、利用者151は、試着シミュレーションの結果を参照し、実際に試着を希望する商品の選択を行い、選択した商品についての試着予約注文を行う(3)。この試着注文予約を受けたサイト運営事業者152が運営する販売支援装置10は、その注文受付結果を利用者151の端末装置30に送信する(4)。

## 【0128】

また、サイト運営事業者152は、受けた試着予約注文の内容を商品販売事業者153に連絡する(5)。試着予約注文を受けた商品販売事業者153は、その予約を受け付け、利用者151は、その試着予約を行った店舗での試着を行い(6)、利用者151がその商品を気に入った場合、その商品の販売が行われる(7)。なお、商品の引き渡しは、郵便等による配達によって行われることとしてもよい。試着予約日後、サイト運営事業者152は、商品販売事業者153に対し、その試着予約に関する試着結果の問い合わせを行い(8)、商品販売事業者153は、サイト運営事業者152に対し、試着結果の連絡を行う(9)。

## 【0129】

図31の運用例では、サイト運営事業者162が、販売支援装置10の運営を行い、顧客である利用者161と商品販売事業者163との商取引の仲介業務を行い、その仲介業務に対する手数料を商品販売事業者163から受け取る。

## 【0130】

まず、商品販売事業者163は、サイト運営事業者162に対し、商品の販売委託を依頼し(1)、これに際し、販売委託を行う商品の登録を依頼する(2)。サイト運営事業者162は、登録依頼のあった商品の登録を行い、販売支援装置10を用い、登録された商品から利用者161に相応しい商品を選択し、電子メール等により、選択した商品を利用者161に紹介する(3)。

## 【0131】

利用者161は、紹介された商品に関し、興味がある場合には、販売支援装置10のサイトにアクセスし(4)、試着シミュレーションを行う(5)。ここで、利用者161が、その商品を気に入った場合、端末装置30を用い、サイト運営事業者162が運営する販売支援装置10に対し、その商品の注文を行い(6)、この注文を受け取ったサイト運営事業者162は、商品販売事業者163に対し、その注文の仲介を行う(7)。サイト運営事業者162は、販売支援装置10によって、その注文受付結果を利用者161に連絡し(8)、また、この際、商品販売事業者163に対し、この仲介業務に対する手数料支払いの請求を行う(9)。商品販売事業者163は、この手数料の支払いを行う(10)。

【0132】

また、利用者161は、注文を行った商品の店舗での試着を行い(11)、利用者161が、その商品を気に入った場合、商品販売事業者163によって、その商品が利用者161に販売される(12)。なお、商品の引き渡しは、郵便等による配達によって行われることとしてもよい。

【0133】

このように、本形態では、顧客に商品を紹介し、顧客によって選択された商品の画像を示す商品画像情報と、被写体の画像を示す被写体画像情報とを用い、商品を被写体に擬似的に試着させた試着シミュレーション画像を提供し、それに対する取引処理を行うこととしたため、顧客が、通信販売において購入しようとする商品が似合うか否か等の主観的価値判断を行うことが可能となり、このような主観的価値判断のもとに、購入しようとする商品の選択を行うことが可能となる。

【0134】

また、顧客の要求に応じ、商品の販売店に対し、選択した商品の試着予約を行うこととすることにより、実際の店舗で商品を選択する手間が省け、利便性が向上する。

【0135】

また、利用者の顧客情報を登録し、被写体画像情報を、顧客情報をもとに生成することにより、より現実に近い状況での試着シミュレーションを行うことが可

能となり、選択した商品に関するより適切な主観的価値判断を行うことが可能となる。

【0136】

また、登録された顧客情報をもとに選択された商品を顧客に紹介することにより、顧客にとっては、効率の良い商品選択が、商品販売業者にとっては、販売効率、販売機会の増加、商品の展示スペースの節約、不要在庫の低減等を図ることが可能となる。

【0137】

また、商品の紹介、試着シミュレーション画像の提供、及び取引処理を、電気通信回線を介して行うことにより、顧客にとっては、商品情報の収集効率、商品の選択効率が向上し、商品販売業者にとっては、販売機会の増加、取引の迅速化等を図ることが可能となる。

【0138】

なお、上記の処理機能は、コンピュータによって実現することができる。その場合、販売支援装置10が有すべき機能の処理内容は、コンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録されたプログラムに記述しておく。そして、このプログラムをコンピュータで実行することにより、上記処理がコンピュータで実現される。コンピュータで読み取り可能な記録媒体としては、磁気記録装置や半導体メモリ等がある。市場に流通させる場合には、CD-ROM(Compact Disk Read Only Memory)やフロッピーディスク等の可搬型記録媒体にプログラムを格納して流通させたり、ネットワークを介して接続されたコンピュータの記憶装置に格納しておき、ネットワークを通じて他のコンピュータに転送することもできる。コンピュータで実行する際には、コンピュータ内のハードディスク装置等にプログラムを格納しておき、メインメモリにロードして実行する。

【0139】

なお、本発明は、上述の実施形態には限定されない。

例えば、本形態では、利用者の会員情報、顔写真の画像情報等を顧客情報格納手段16に格納することとしたが、これらの情報を、例えば、ICカード等の記録媒体に格納し、利用者が、そのICカード等を用い、その利用者の会員情報、

顔写真の画像情報等を販売支援システム 1 に提供し、当該システムのサービスを受ける構成としてもよい。

【0 1 4 0】

また、本形態では、商品として洋服を例にとって説明したが、靴、バック等その他の商品の販売に対し、販売支援システム 1 を利用することとしてもよい。

さらに、試着イメージ表示欄 6 1 e 等に表示される試着シミュレーション画像は、平面画像であっても、立体画像であってもよいし、静止画であっても動画であってもよい。

【0 1 4 1】

また、被写体画像と重ねて背景画像を表示する場合は、選択された商品に関するファッションスタイル、あるいはカテゴリ等の条件に基づいて表示するようにしてもよいし、被写体画像の表示状態に合わせて所定の背景画像を表示することとしてもよい。

【0 1 4 2】

さらに、本形態では、取引処理として、商品の購入注文処理及び試着予約処理を例に挙げて説明したが、この取引処理として、自宅等における洋服等の試着を予約する試着宅配予約、試着出前予約、選択した洋服のレンタル、試着シミュレーションにおいて髪型のシミュレーションも行えることとし、そのシミュレーション結果に応じたカット等を行うための美容院予約、試着シミュレーションにおいて T シャツのデザイン等も行えることとし、そのデザインをプリントするためのプリント予約等を行うこととしてもよい。

【0 1 4 3】

(付記 1) 商品の販売を支援する販売支援方法において、

前記商品の紹介を行う商品紹介処理ステップと、

前記商品紹介処理ステップにおいて紹介された前記商品の画像を示す商品画像情報と、被写体の画像を示す被写体画像情報とを用い、前記商品を前記被写体に擬似的に試着させた試着シミュレーション画像を提供する試着シミュレーション処理ステップと、

前記商品に対する取引処理を行う取引処理ステップと、

を有することを特徴とする販売支援方法。

【0 1 4 4】

（付記 2） 前記取引処理ステップは、

前記商品の販売店に対し、前記商品の試着予約を行う試着予約処理ステップを有することを特徴とする付記 1 記載の販売支援方法。

【0 1 4 5】

（付記 3） 利用者の顧客情報を登録する顧客情報処理ステップをさらに有し

、  
前記被写体画像情報は、

前記顧客情報をもとに生成された情報であることを特徴とする付記 1 記載の販売支援方法。

【0 1 4 6】

（付記 4） 前記商品紹介処理ステップは、

前記顧客情報処理ステップにおいて登録された前記顧客情報をもとに選択された前記商品を紹介することを特徴とする付記 3 記載の販売支援方法。

【0 1 4 7】

（付記 5） 前記商品紹介処理ステップにおける前記商品の紹介、前記試着シミュレーション処理ステップにおける前記試着シミュレーション画像の提供、及び、前記取引処理ステップにおける前記取引処理は、

電気通信回線を介して行われることを特徴とする付記 1 記載の販売支援方法。

【0 1 4 8】

（付記 6） 前記試着予約処理ステップは、

前記商品の試着予約を行った際、前記試着予約を識別する識別番号を付加した試着予約票を発行することを特徴とする付記 2 記載の販売支援方法。

【0 1 4 9】

（付記 7） 商品の販売を支援する販売支援装置において、

前記商品の紹介を行う商品紹介処理手段と、

前記商品紹介処理手段において紹介された前記商品の画像を示す商品画像情報と、被写体の画像を示す被写体画像情報とを用い、前記商品を前記被写体に擬似



的に試着させた試着シミュレーション画像を提供する試着シミュレーション処理手段と、

前記商品に対する取引処理を行う取引処理手段と、

を有することを特徴とする販売支援装置。

【0 1 5 0】

（付記 8） 前記取引処理手段は、

前記商品の販売店に対し、前記商品の試着予約を行うことを特徴とする付記 7 記載の販売支援装置。

【0 1 5 1】

（付記 9） 利用者の顧客情報を登録する顧客情報処理手段をさらに有し、

前記被写体画像情報は、

前記顧客情報をもとに生成された情報であることを特徴とする付記 7 記載の販売支援装置。

【0 1 5 2】

（付記 1 0） 前記商品紹介処理手段は、

前記顧客情報処理手段において登録された前記顧客情報をもとに選択された前記商品を紹介することを特徴とする付記 9 記載の販売支援装置。

【0 1 5 3】

（付記 1 1） 前記商品紹介処理手段における前記商品の紹介、前記試着シミュレーション処理手段における前記試着シミュレーション画像の提供、及び、前記取引処理手段における前記取引処理は、

電気通信回線を介して行われることを特徴とする付記 7 記載の販売支援装置。

【0 1 5 4】

（付記 1 2） 商品の紹介を行い、

紹介された前記商品の画像を示す商品画像情報と、被写体の画像を示す被写体画像情報とを用い、前記商品を前記被写体に擬似的に試着させた試着シミュレーション画像を提供し、

前記商品に対する取引処理を行う機能をコンピュータに行わせるプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【0155】

【発明の効果】

以上説明したように本発明では、顧客に商品を紹介し、顧客によって選択された商品の画像を示す商品画像情報と、被写体の画像を示す被写体画像情報とを用い、商品を被写体に擬似的に試着させた試着シミュレーション画像を提供し、それに対する取引処理を行うこととしたため、顧客が、通信販売において購入しようとする商品が似合うか否か等の主観的価値判断を行うことが可能となり、このような主観的価値判断のもとに、購入しようとする商品の選択を行うことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

販売支援システムの構成を示した構成図である。

【図2】

商品紹介情報格納手段に格納された情報の内容を例示した図である。

【図3】

試着シミュレーション情報格納手段に格納された情報の内容を例示した図である。

【図4】

顧客情報格納手段に格納された情報の内容を例示した図である。

【図5】

取引情報格納手段に格納される情報の内容を例示した図である。

【図6】

取引情報格納手段に格納される情報の内容を例示した図である。

【図7】

取引情報格納手段に格納される情報の内容を例示した図である。

【図8】

販売支援システムの全体動作を説明するためのフローチャートである。

【図9】

販売支援システムの一連の処理動作において、端末装置に表示される表示画面

の画面フローを例示した図である。

【図 1 0】

販売支援システムの一連の処理動作において、端末装置に表示される表示画面の画面フローを例示した図である。ここで、（a）は、商品の購入処理時における表示画面を例示した図であり、（b）は、商品の試着予約処理時における表示画面を例示した図である。

【図 1 1】

ホームページ画面の詳細を例示した図である。

【図 1 2】

顧客情報管理処理の詳細を説明するためのフローチャートであり、図 8 に示したフローチャートのステップ S 7 の詳細を示している。

【図 1 3】

端末装置の表示装置等に表示された会員登録画面を例示した図である。

【図 1 4】

商品紹介処理を説明するためのフローチャートであり、図 8 に示したフローチャートのステップ S 9 の詳細を示している。

【図 1 5】

端末装置の表示装置等に表示された商品選択画面を例示した図である。

【図 1 6】

試着シミュレーション処理を説明するためのフローチャートであり、図 8 に示したフローチャートのステップ S 9 の詳細を示している。

【図 1 7】

試着シミュレーション処理を説明するためのフローチャートであり、図 8 に示したフローチャートのステップ S 9 の詳細を示している。

【図 1 8】

端末装置に表示された初期条件設定画面を例示した図である。

【図 1 9】

処理要求が体型変更要求であった場合、利用者が体型変更の条件を入力する条件変更入力画面を例示した図である。

【図 2 0】

端末装置の表示装置等によって表示されたシミュレーション結果表示画面を例示した図である。

【図 2 1】

利用者が、変更後の商品を選択する際に端末装置に表示される条件変更入力画面を例示した図である。

【図 2 2】

端末装置の表示装置等によって表示されたシミュレーション結果表示画面を例示した図である。

【図 2 3】

注文受付処理を説明するためのフローチャートであり、図 8 に示したフローチャートのステップ S 1 0 の詳細を示している。

【図 2 4】

端末装置の表示装置等に表示される購入注文入力画面を例示した図である。

【図 2 5】

端末装置の表示装置等に表示された購入内容確認画面を例示した図である。

【図 2 6】

端末装置の表示装置等に表示された購入注文受付結果画面を例示した図である。

【図 2 7】

端末装置の表示装置等に表示される試着予約入力画面を例示した図である。

【図 2 8】

端末装置の表示装置等に表示された予約内容確認画面を例示した図である。

【図 2 9】

端末装置の表示装置等に表示された試着予約受付結果画面を例示した図である。

【図 3 0】

販売支援システムの具体的な運用例を例示した図である。

【図 3 1】

販売支援システムの具体的な運用例を例示した図である。

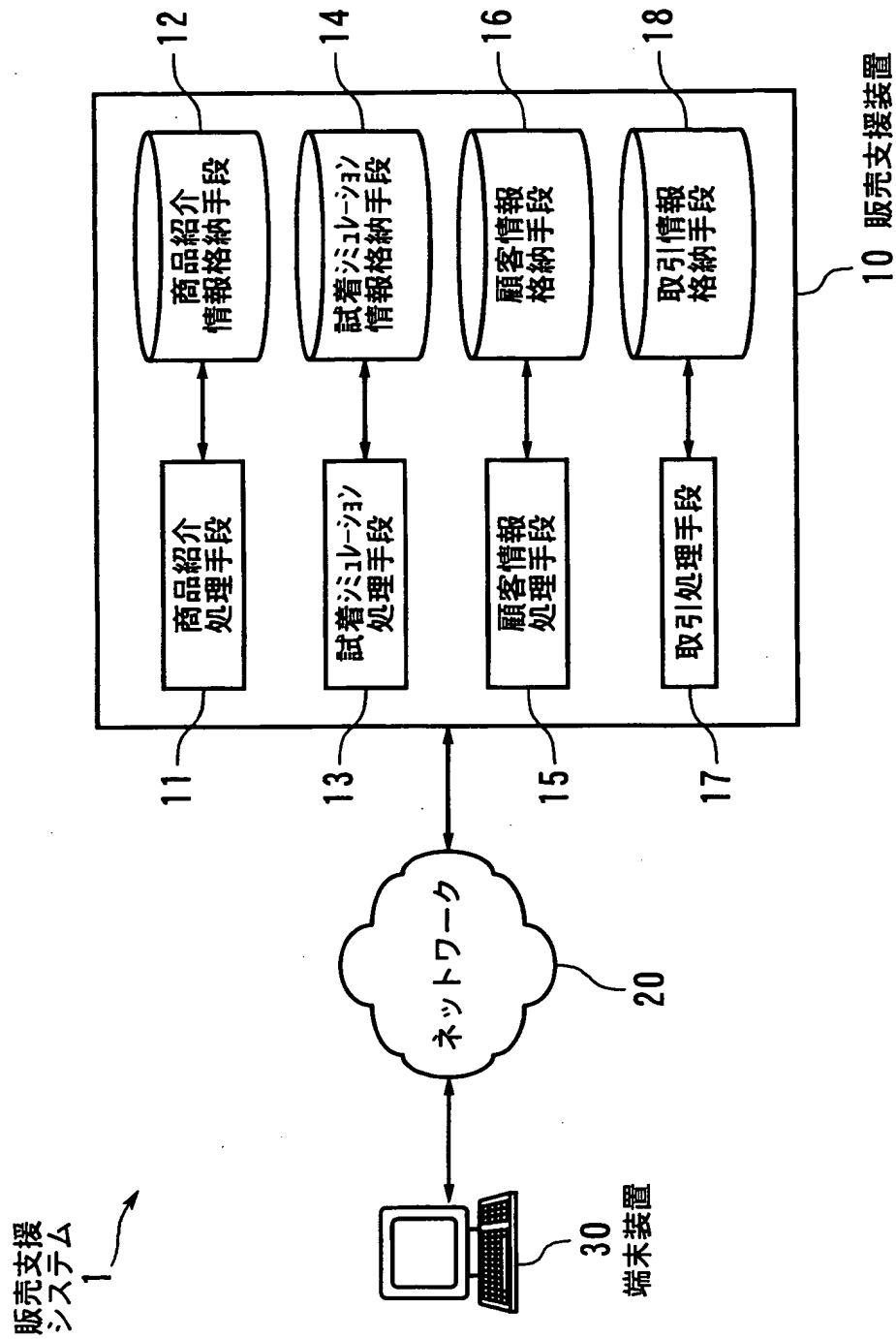
【符号の説明】

- 1 販売支援システム
  - 10 販売支援装置
    - 11 商品紹介処理手段
    - 12 商品紹介情報格納手段
      - 12a 商品紹介情報レコードDB
      - 12b 商品マスタDB
      - 12c 商品イメージDB
    - 13 試着シミュレーション処理手段
    - 14 試着シミュレーション情報格納手段
      - 14a 管理レコードDB
      - 14b 被写体ひな型DB
      - 14c シミュレーションイメージ格納DB
      - 14d 試着イメージ格納DB
    - 15 顧客情報処理手段
    - 16 顧客情報格納手段
      - 16a 会員情報レコードDB
      - 16b 顔写真イメージDB
    - 17 取引処理手段
    - 18 取引情報格納手段
      - 18a 注文カート情報DB
      - 18b 購入注文レコードDB
      - 18c 試着予約レコードDB
  - 20 ネットワーク
  - 30 端末装置

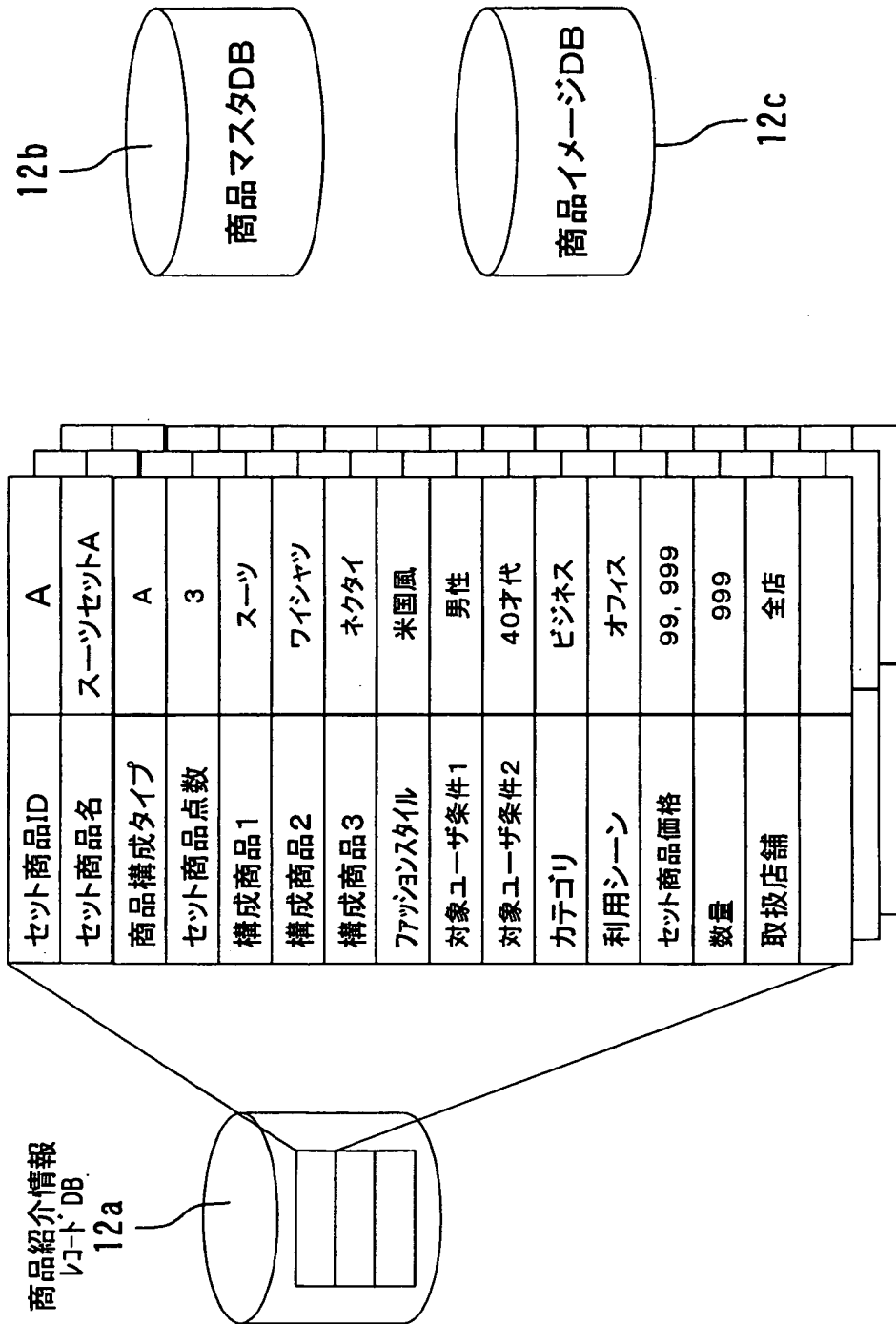
【書類名】

図面

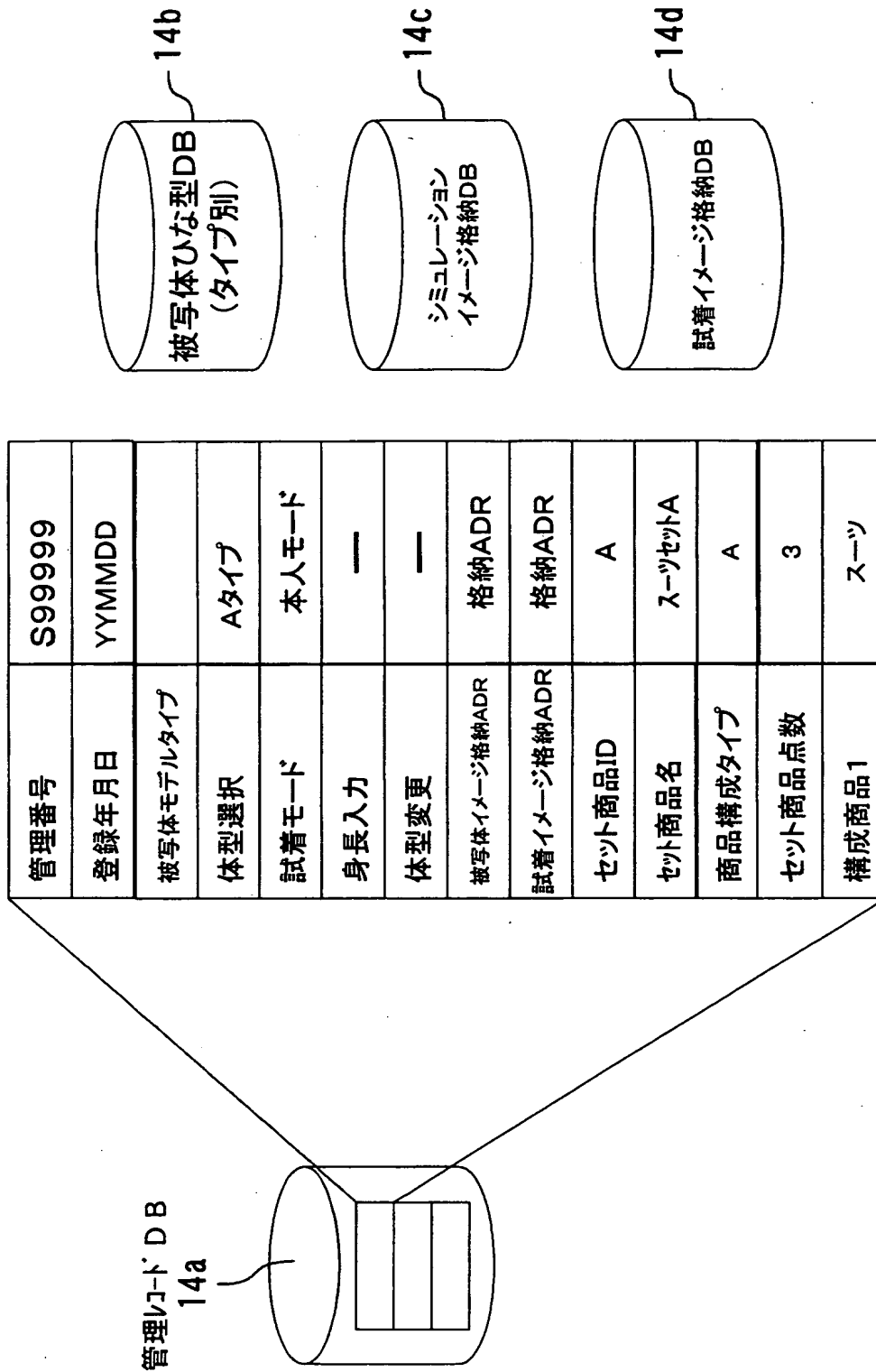
【図 1】



【図 2】

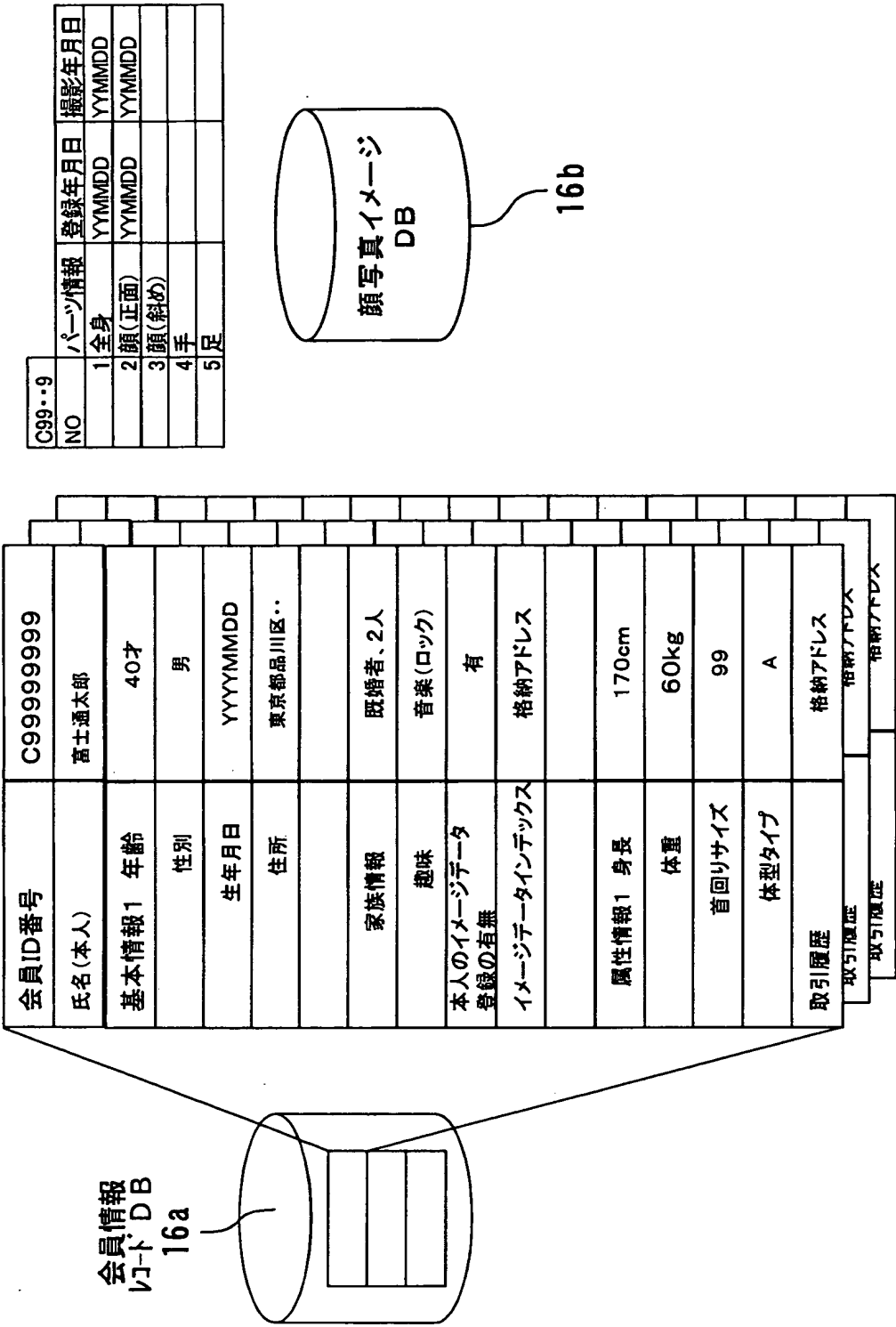


【図 3】

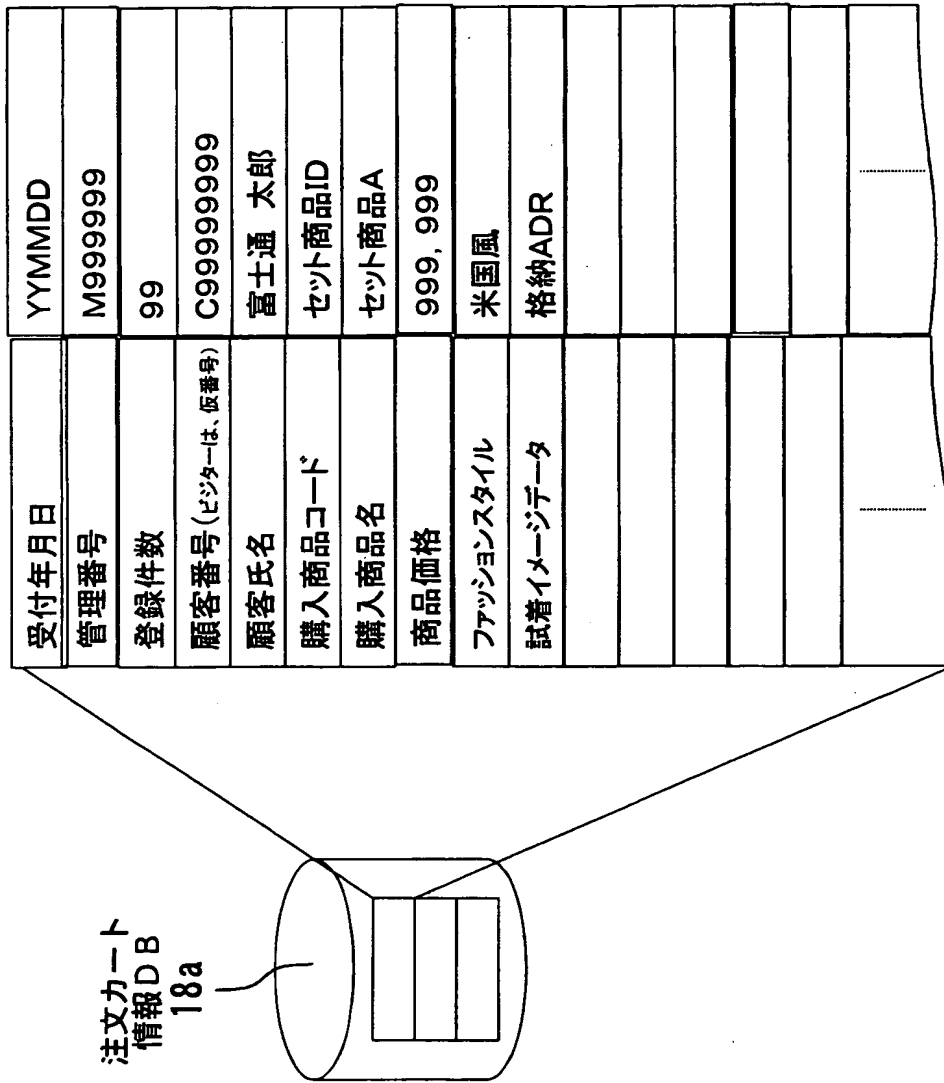




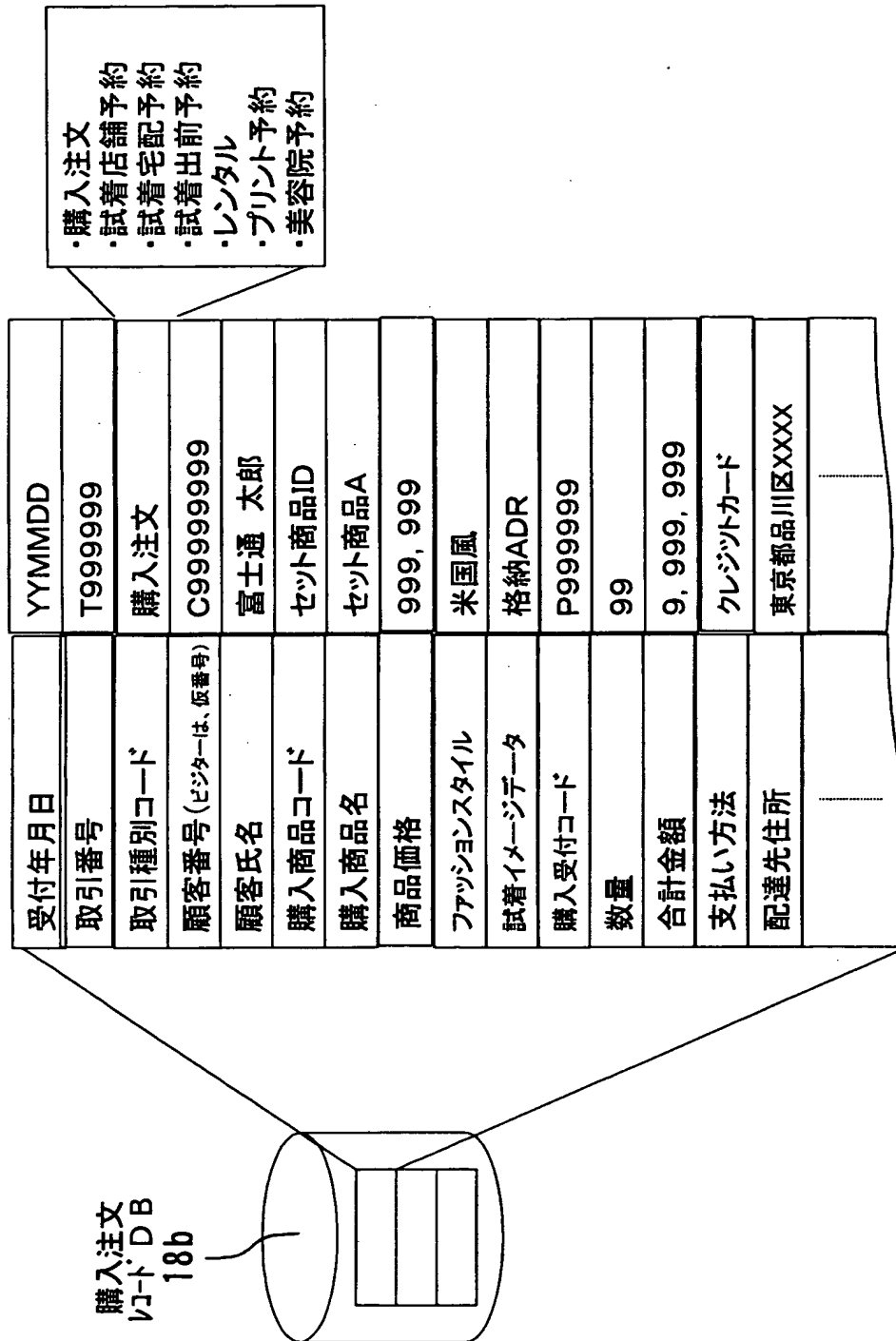
【図 4】



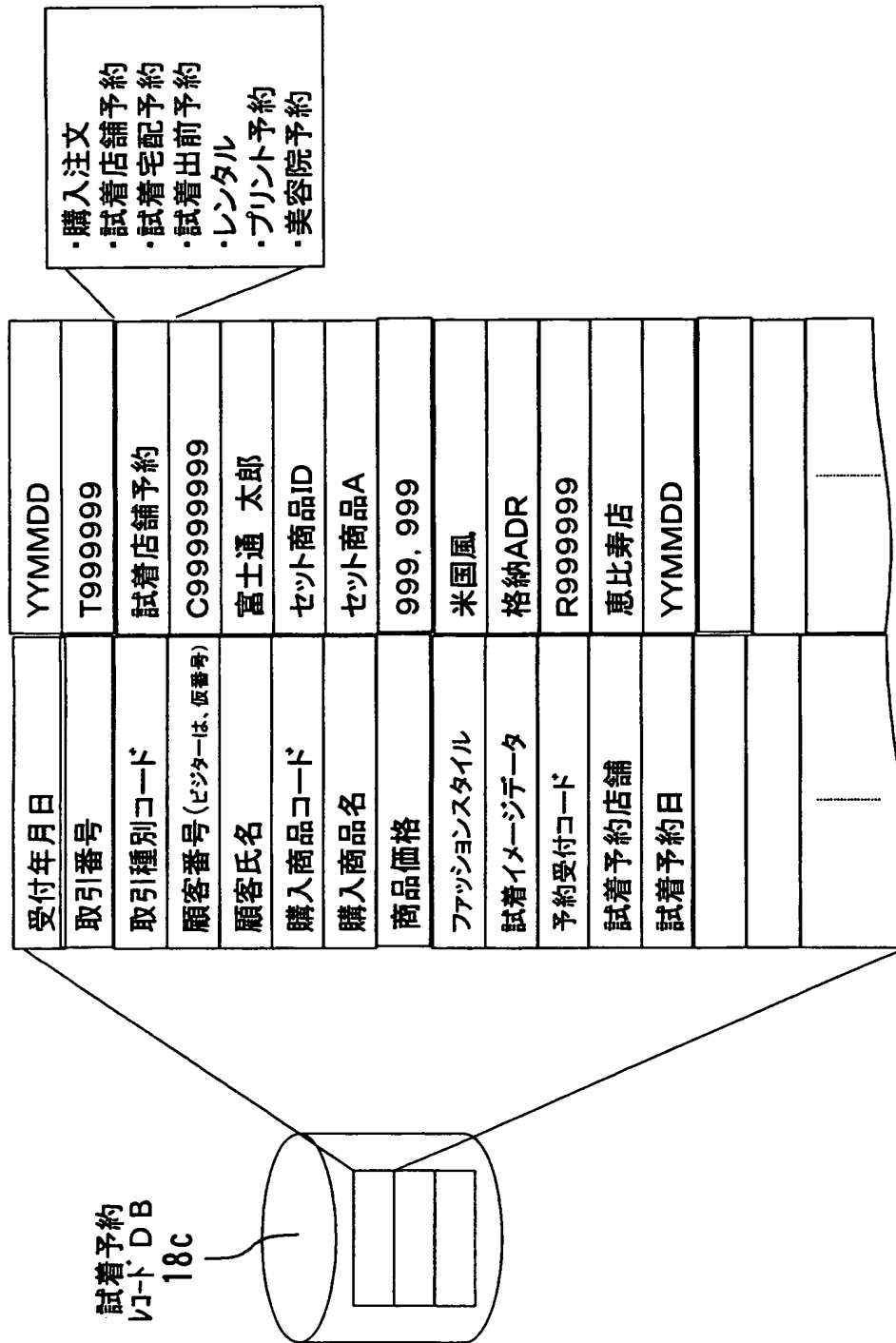
【図 5】



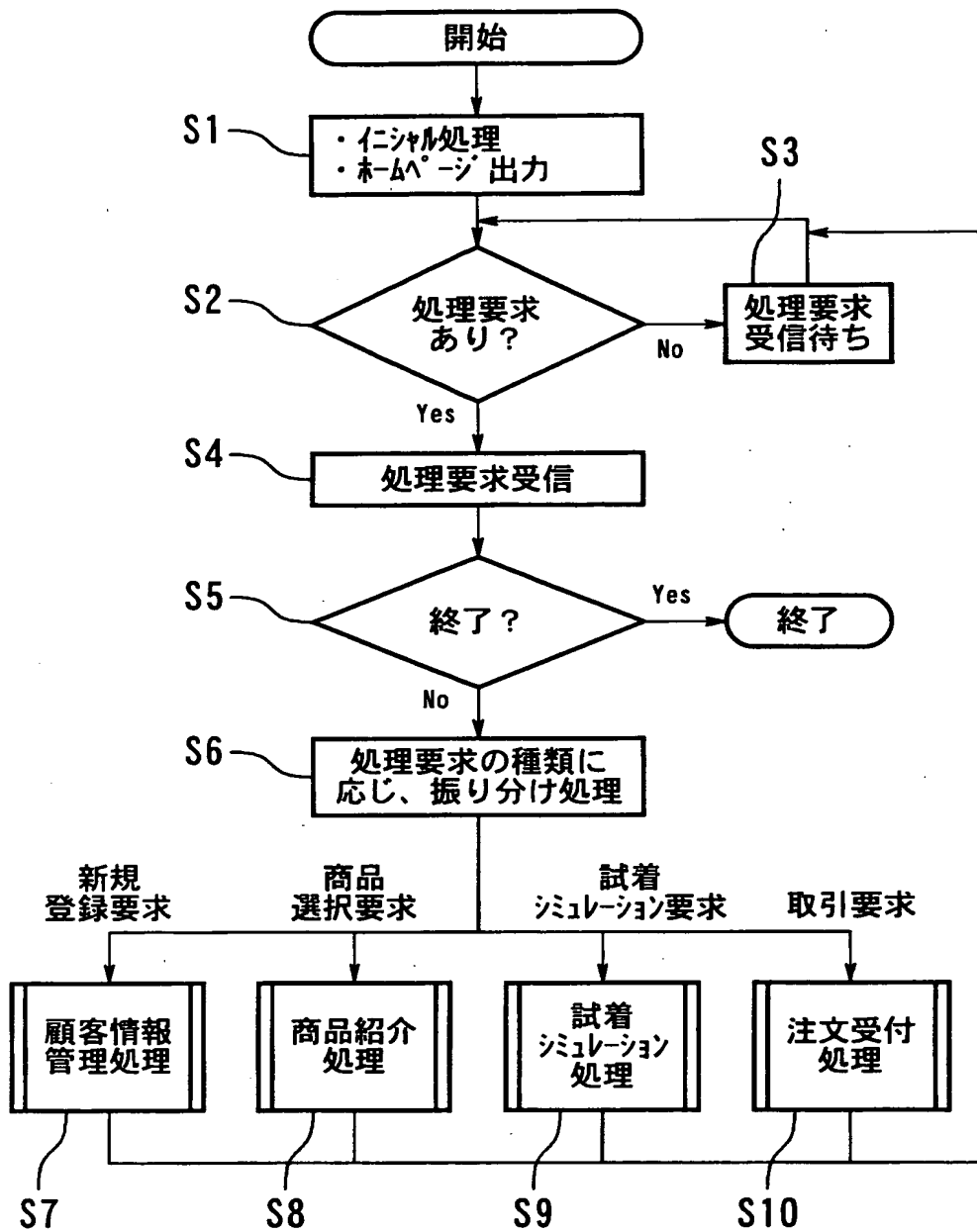
【図 6】



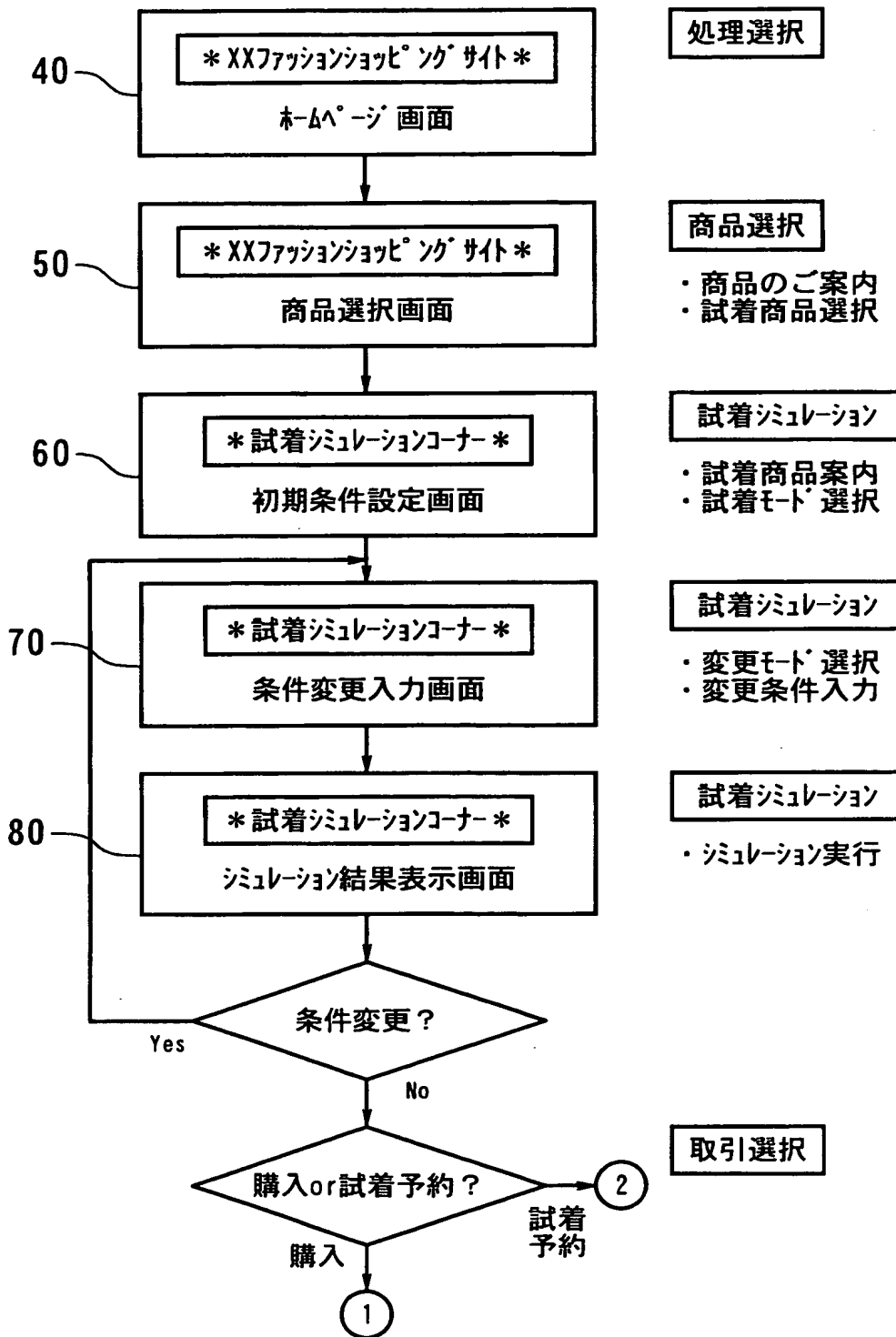
【図 7】



【図 8】

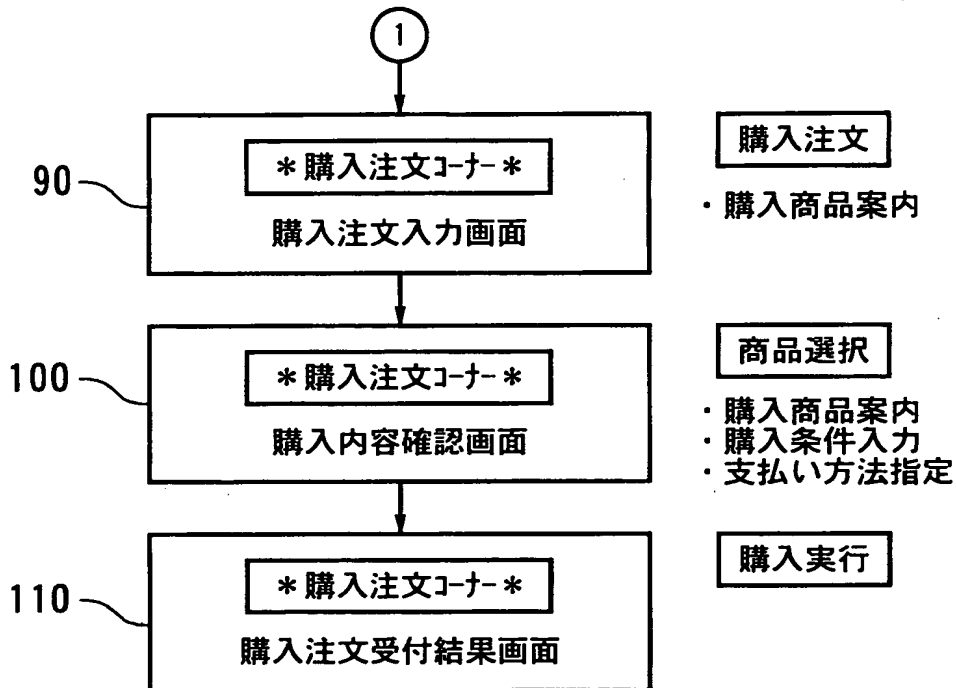


【図 9】

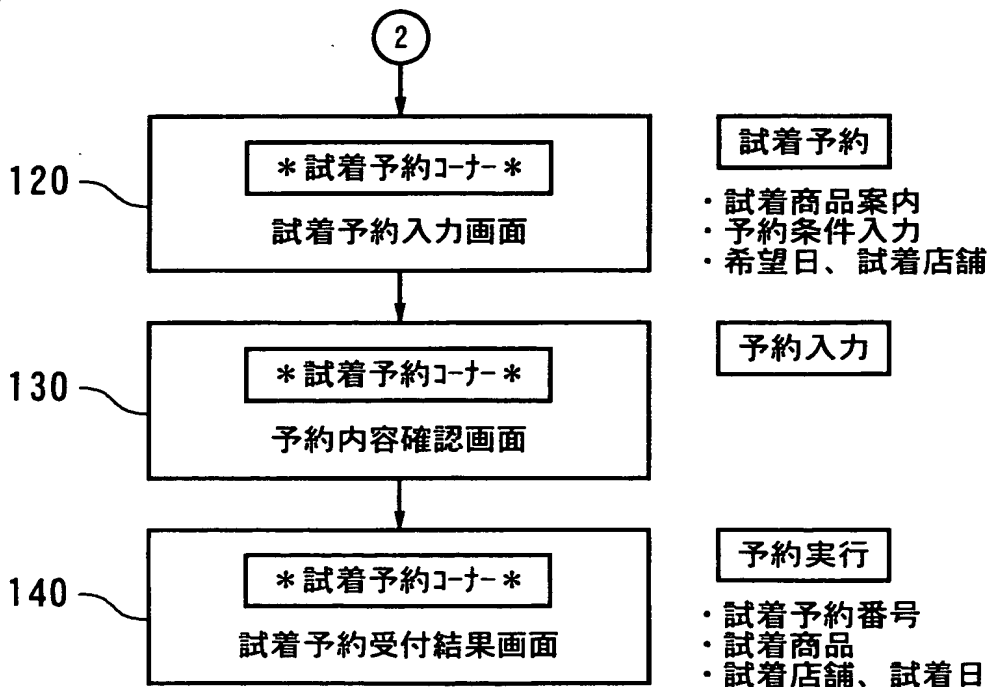


【図 10】

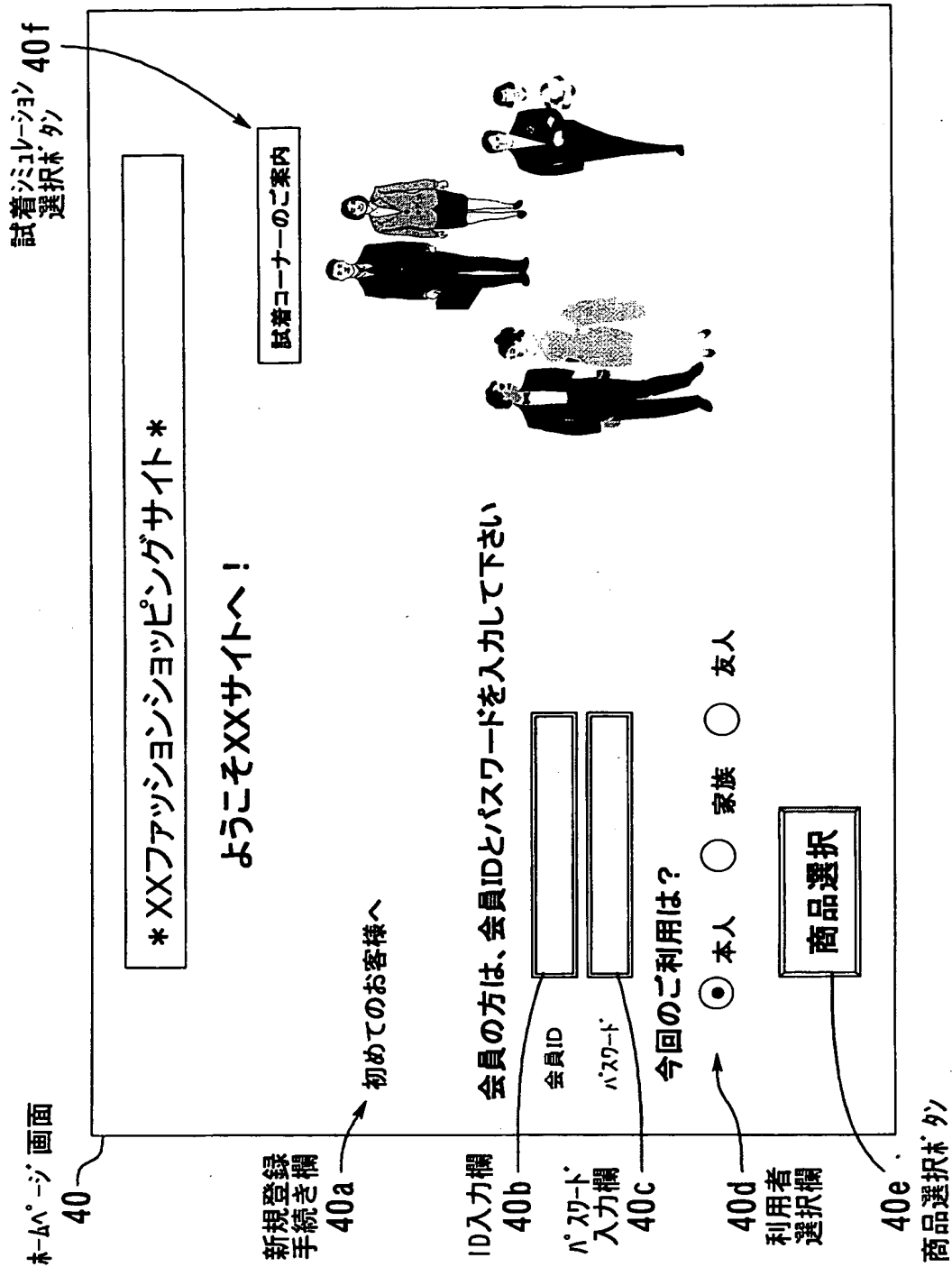
(a)



(b)

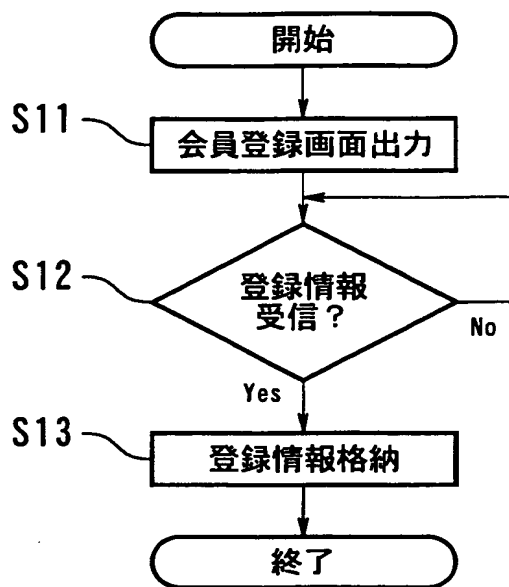


【図 1 1】





【図 1 2】



【図 13】

会員登録  
画面

41

\* 会員情報登録コーナー（新規メンバー登録）\*

会員登録される方は、メンバーIDとパスワードを設定して下さい（登録されない方は、



ID入力欄  
41a

パスワード  
入力欄  
41b

パスワード  
確認欄  
41c

メンバーID

パスワード

パスワード確認

お客様の情報を入力して下さい

氏名(漢字) 姓  名

氏名(ローマ字) 姓  名

性別 ○ 男 ○ 女 婚姻 ○ 既婚 ○ 未婚

生年月日  年  月  日

家族情報  人

郵便番号  -

自宅住所

利用者  
情報  
入力欄  
41d

趣味  
情報等  
入力欄  
41e

趣味情報

趣味1  趣味2

趣味3  趣味4

ファッション情報

スタイル1  スタイル2

体型情報  
入力欄  
41f

体型情報

身長  体重

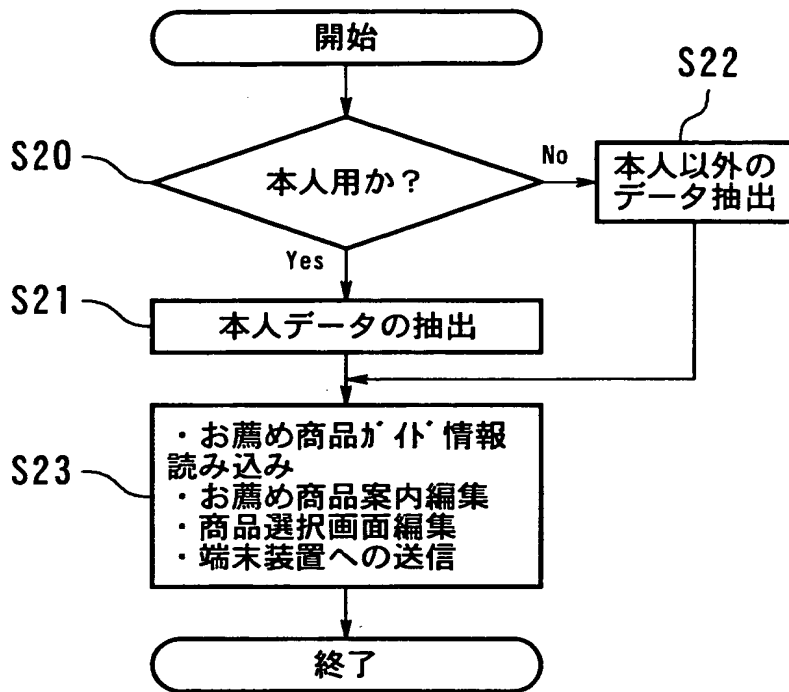
体型

登録

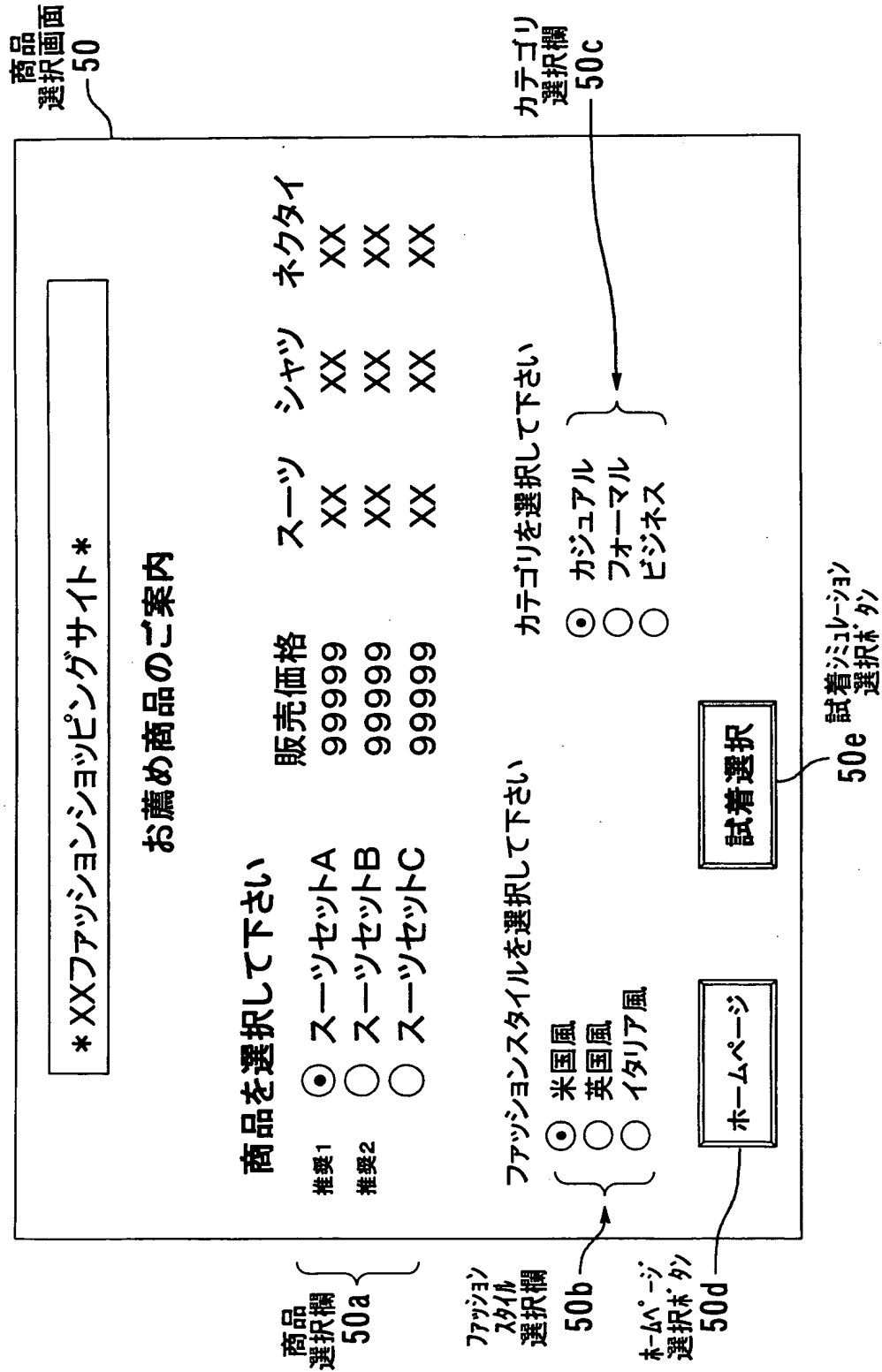
取消

登録ボタン 41h 41i 取消ボタン

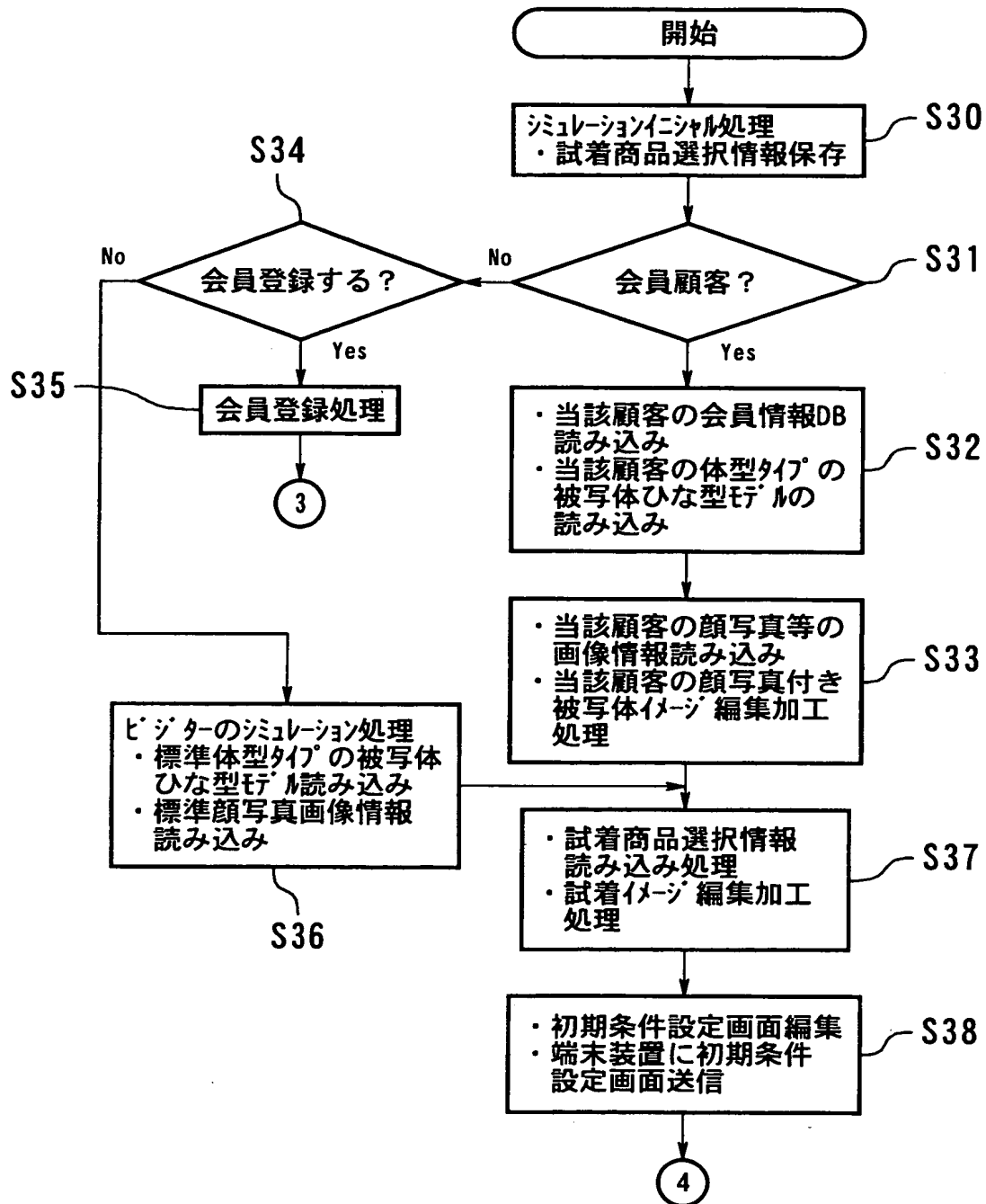
【図 1 4】



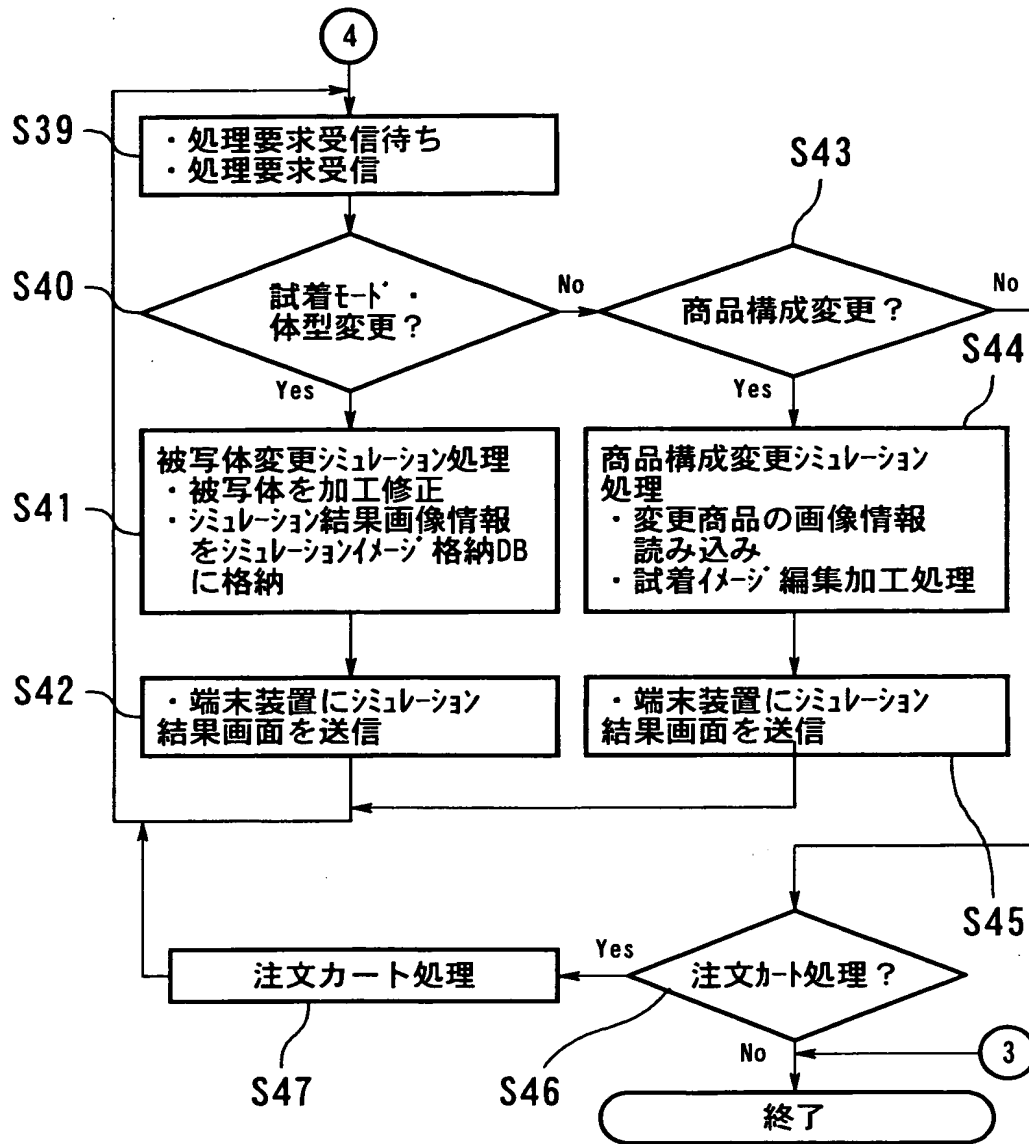
【図 15】



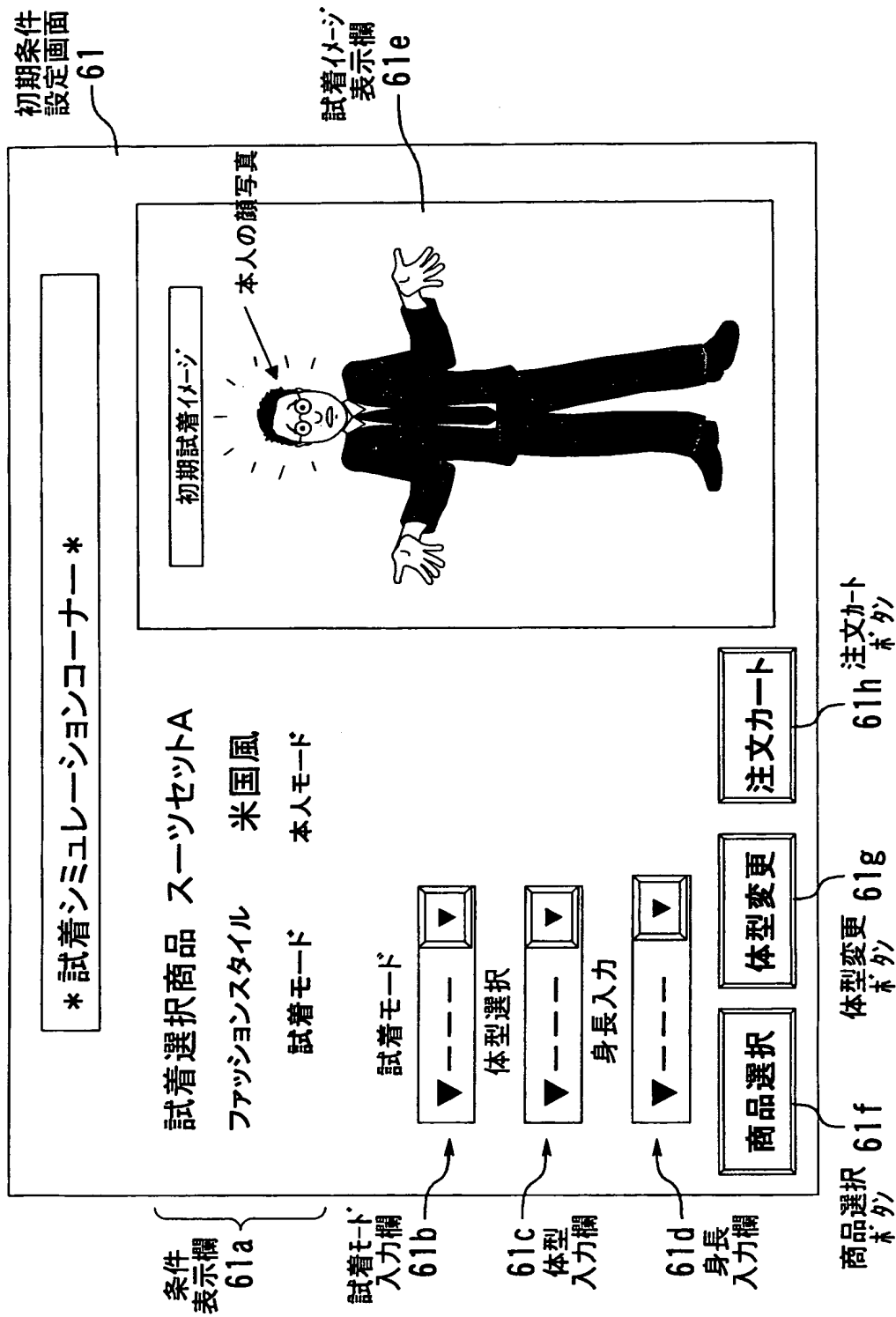
【図 1 6】



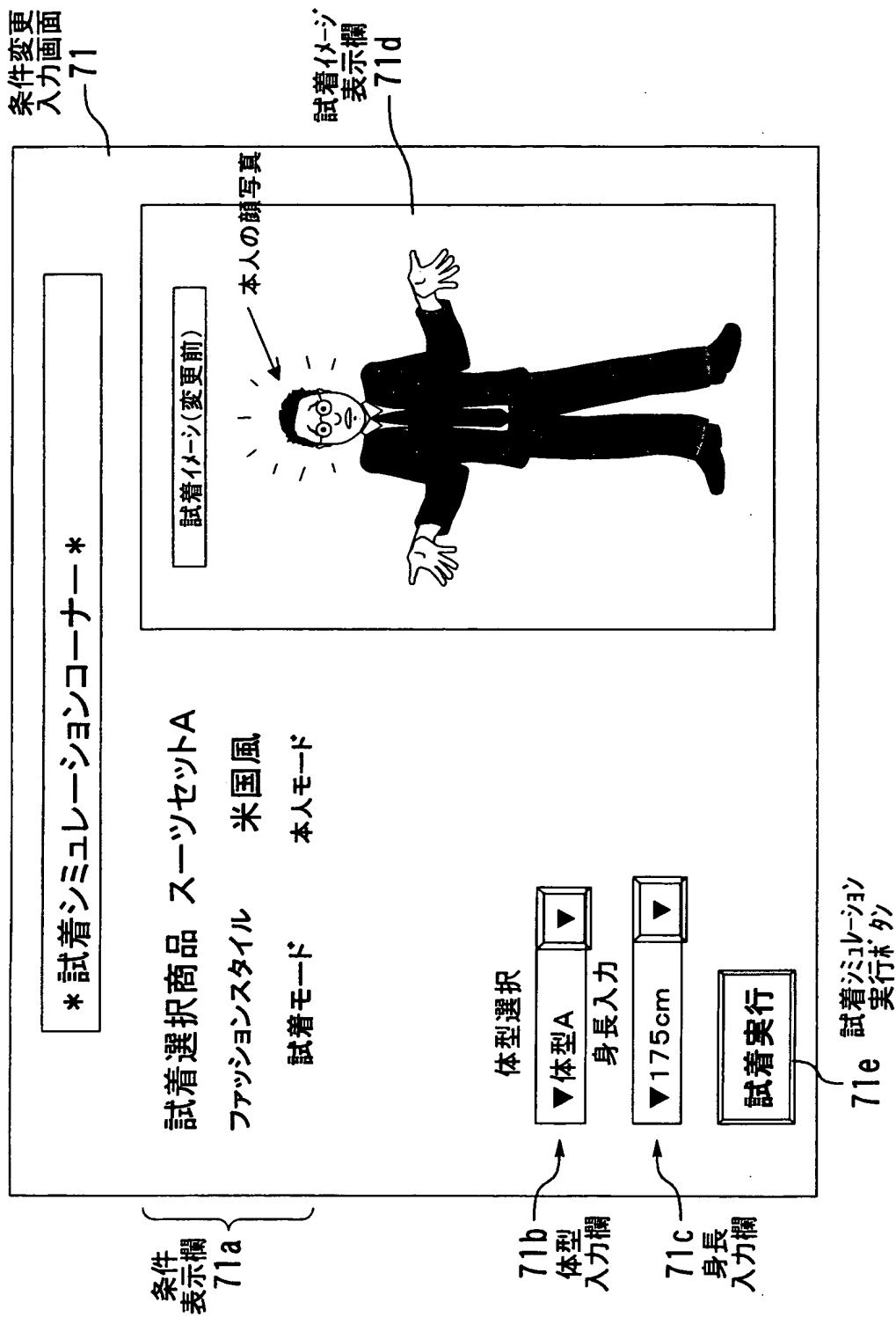
【図 17】



【図 18】

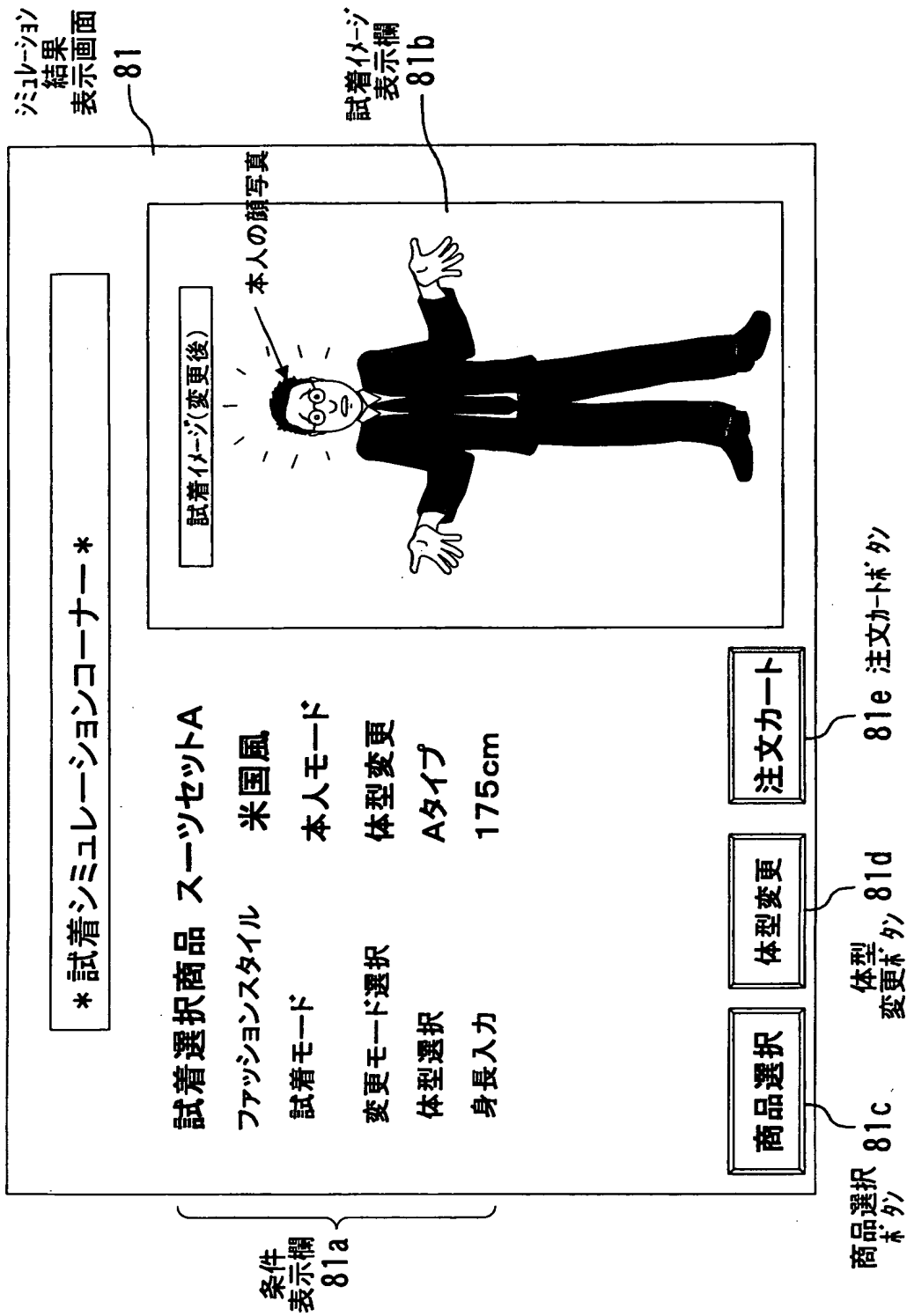


【図 19】

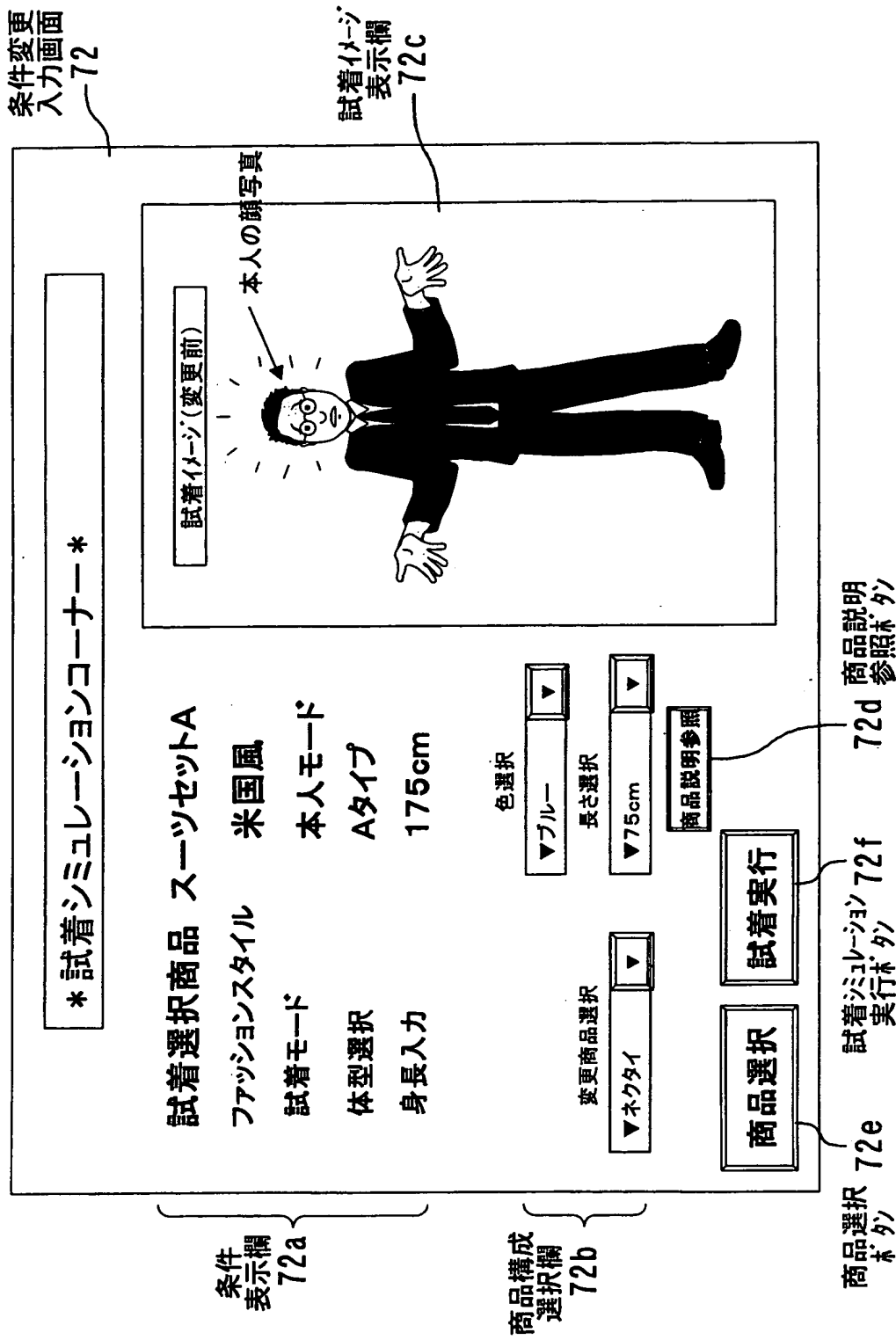




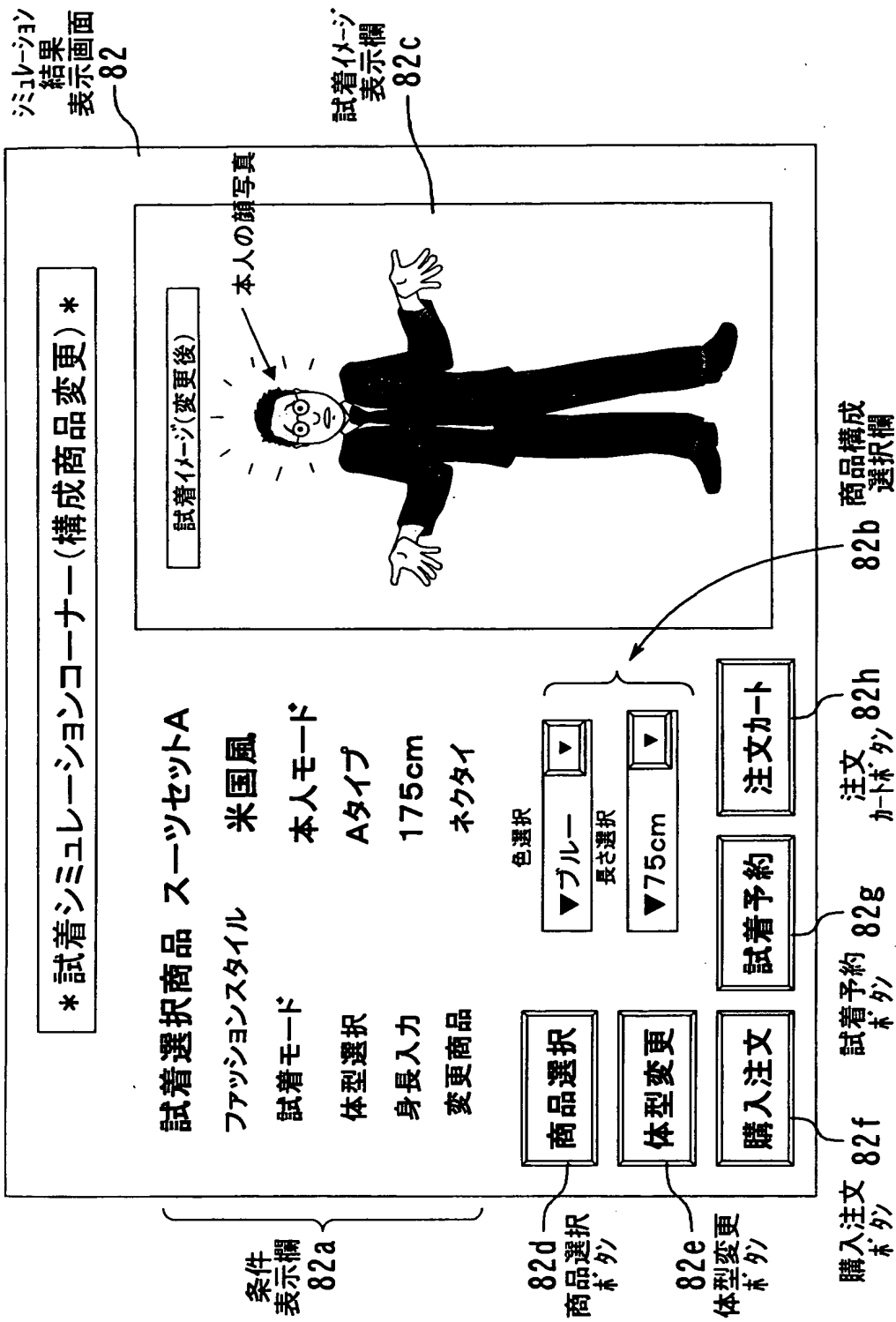
【図20】



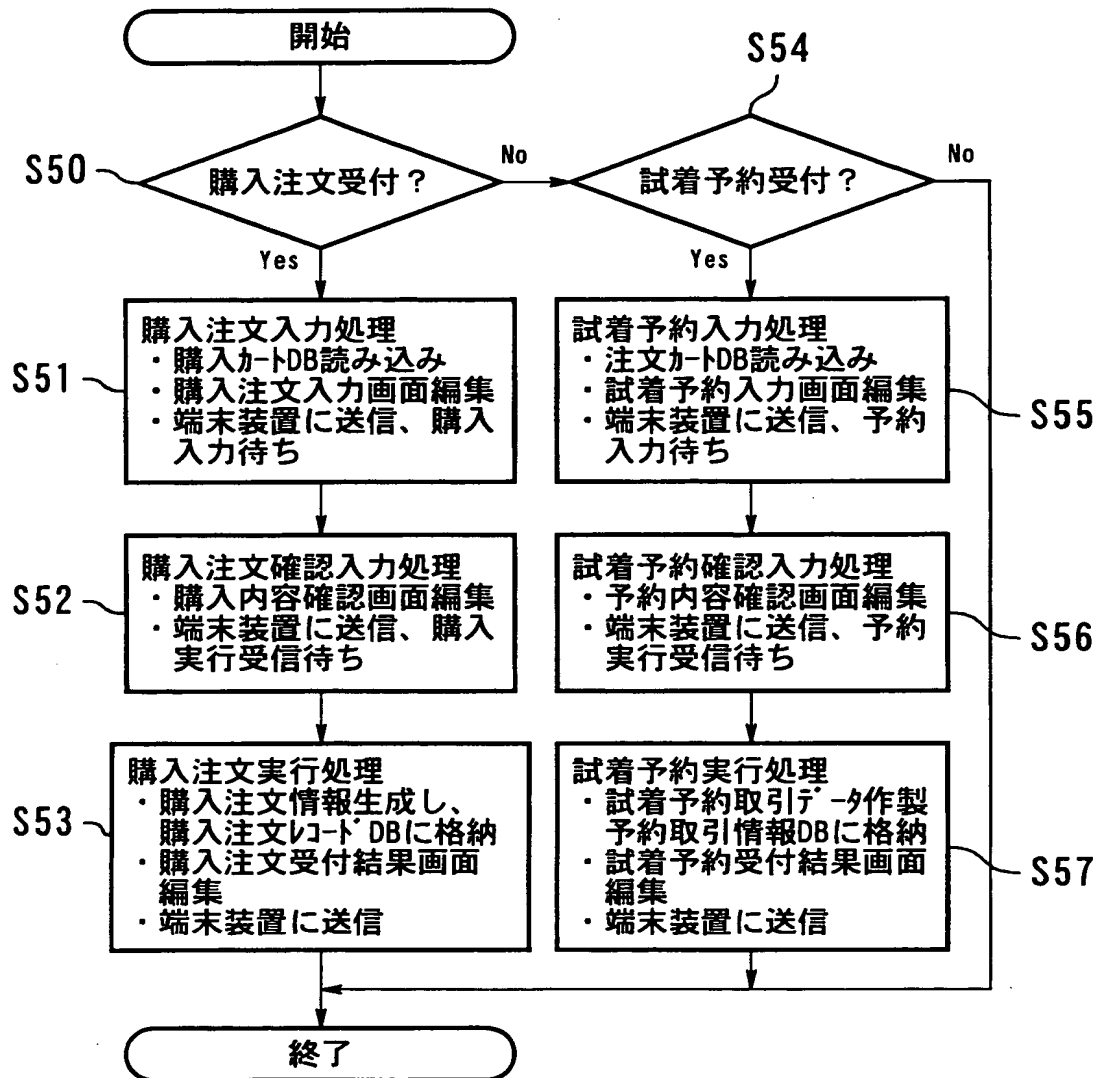
【図 21】



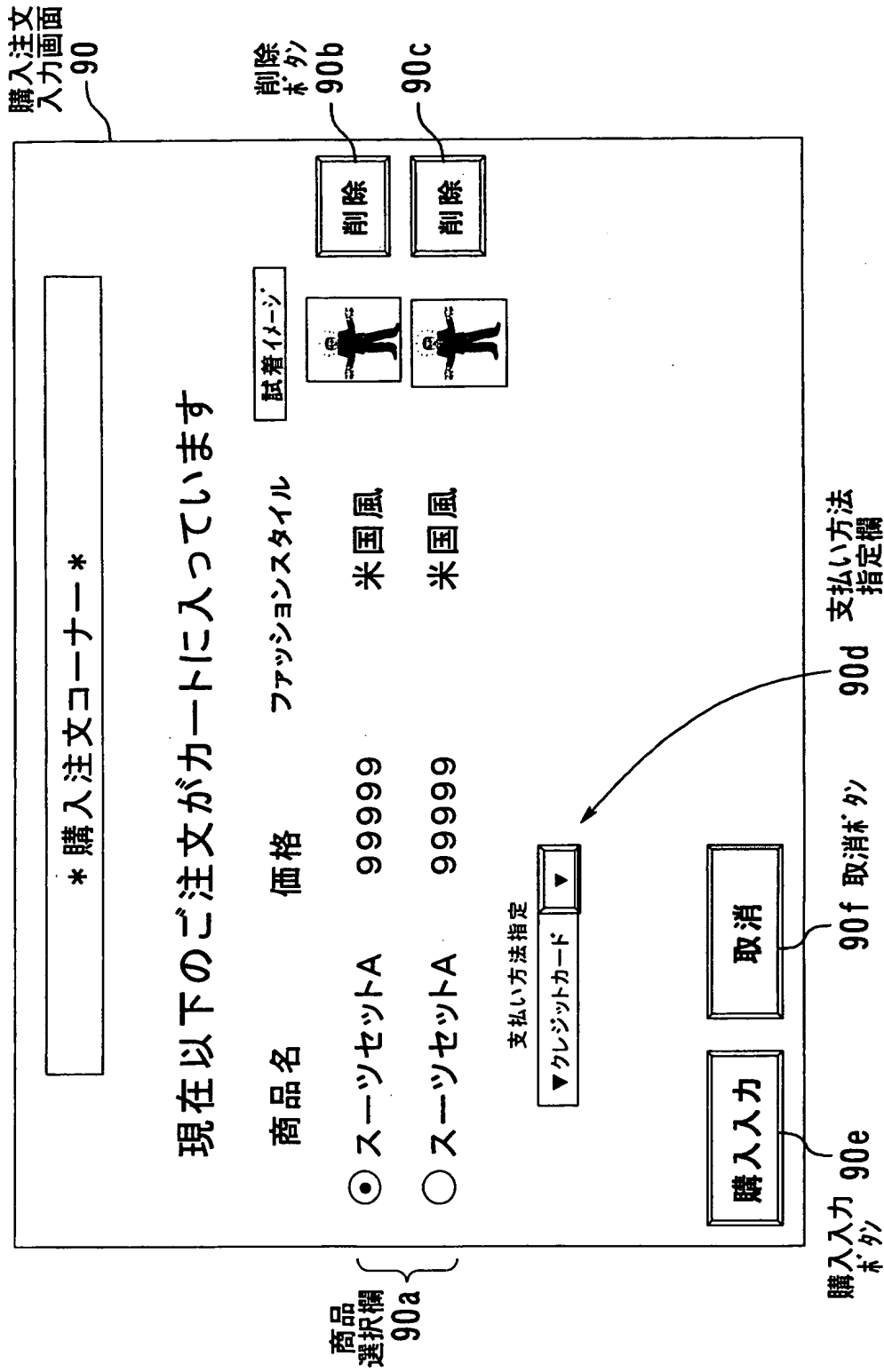
【図 2 2】



【図 2 3】



【図 24】




【図 2 5】

購入内容  
確認画面  
100

\* 購入注文コーナー \*

ご注文の内容を確認して下さい

商品名	価格	数量	ファッションスタイル
スーツセットA	99999	1	米国風

試着イメージ

支払い条件

支払い方法

クレジットカード

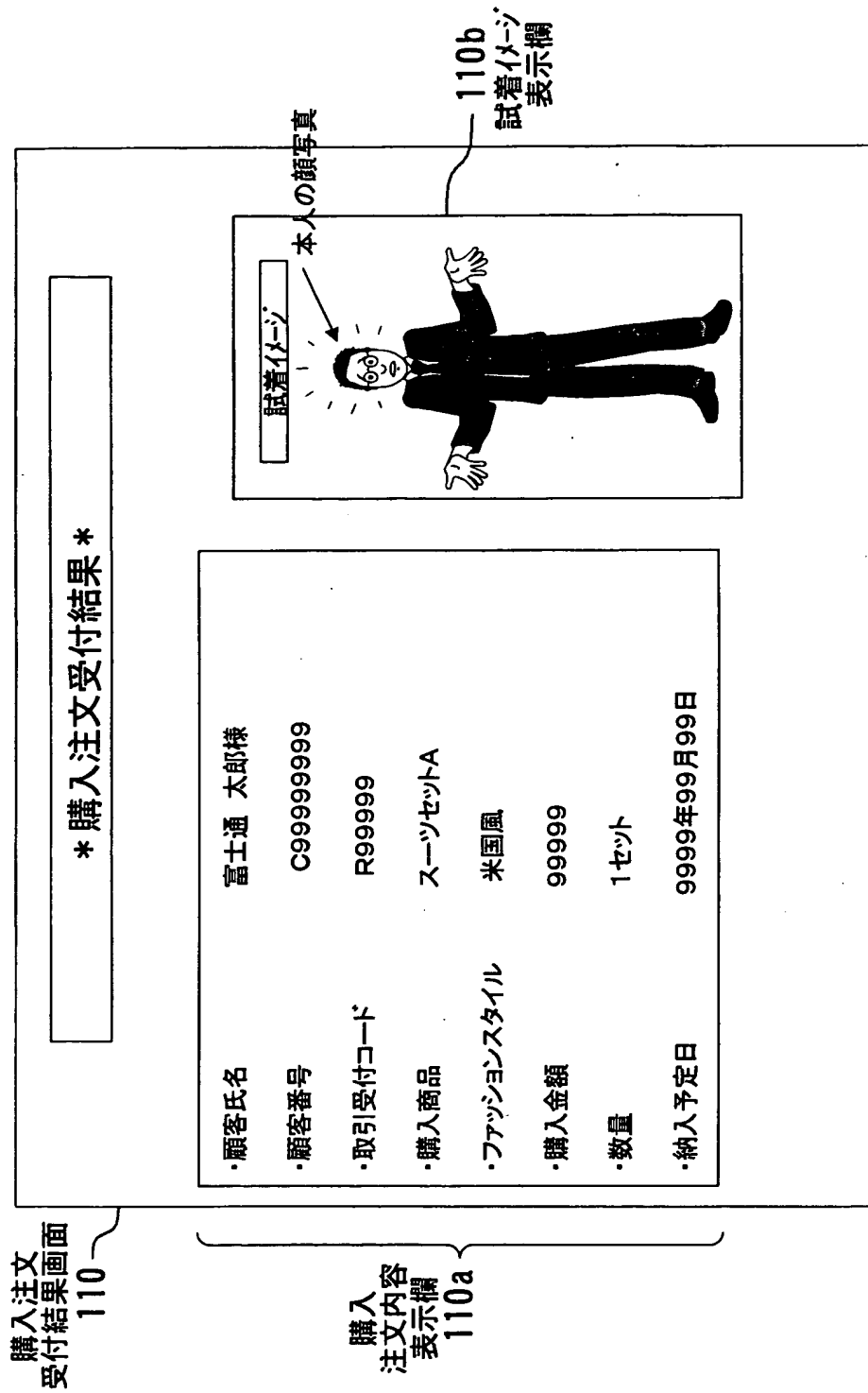
購入実行

取消

100c  
購入実行  
ボタン

100d 取消  
ボタン

【図 26】



【図 27】

試着予約  
入力画面  
120

商品  
選択欄  
120a





予約条件  
入力欄  
120d

予約入力  
ボタン  
120e

120f 取消ボタン

\* 試着予約コーナー \*

現在以下のご注文がカートに入っています

商品名	価格	ファッションスタイル	試着イメージ	削除
<input checked="" type="radio"/> スーツセットA	99999	米国風		
<input type="radio"/> スーツセットA	99999	米国風		

予約条件を入力してください

試着店舗指定

▼恵比寿店 ▼

試着希望日

▼指定なし ▼

予約入力

取消



【図 28】

予約内容  
確認画面  
130


試着対象  
表示欄  
130a

予約内容  
表示欄  
130b

130c  
予約実行  
ボタン

\* 試着予約コーナー \*

ご予約の内容を確認してください

商品名	価格	ファッションスタイル	試着イメージ
スーツセットA	99999	米国風	

予約条件

・試着店舗

恵比寿支店

・試着希望日

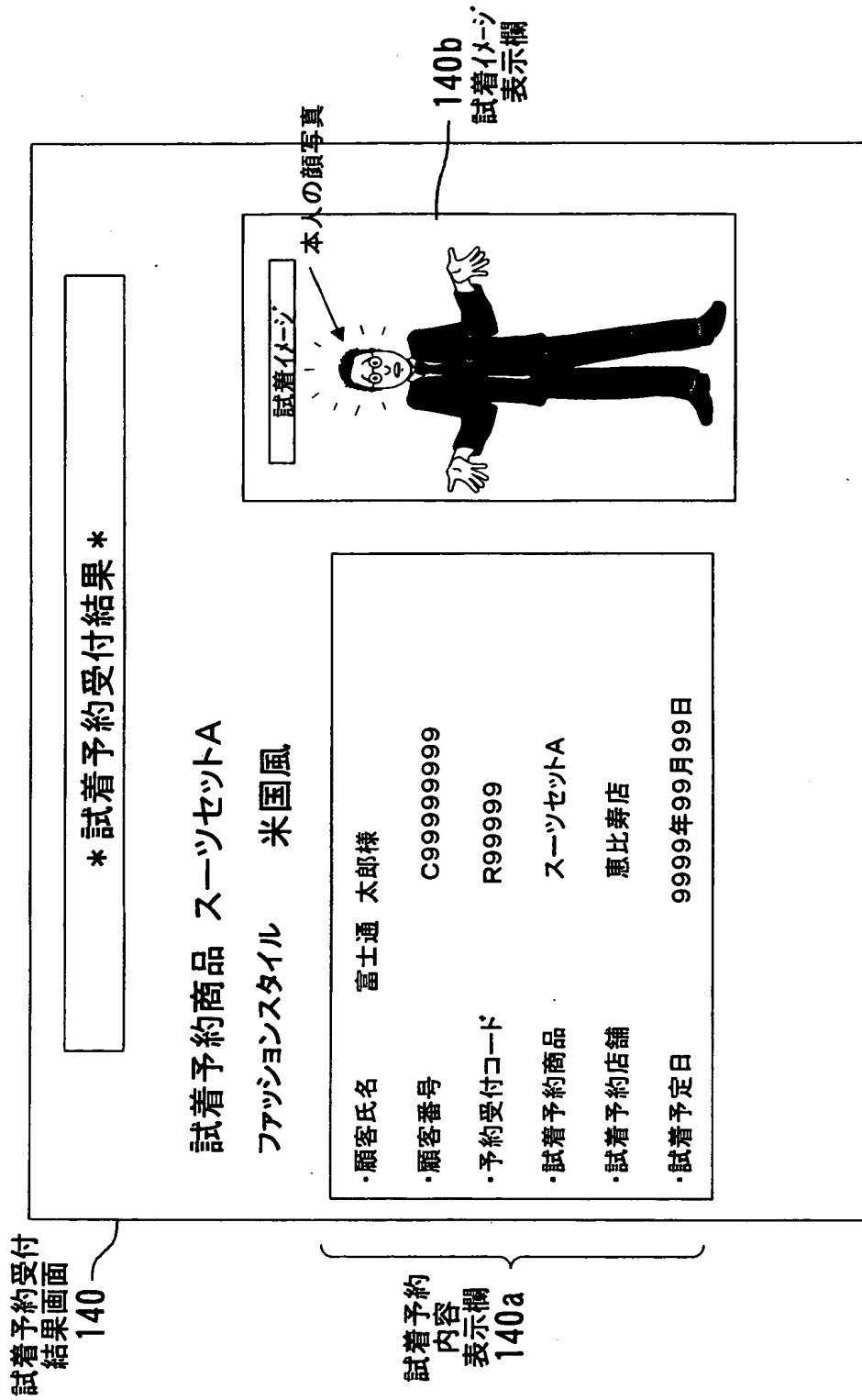
指定なし

予約実行

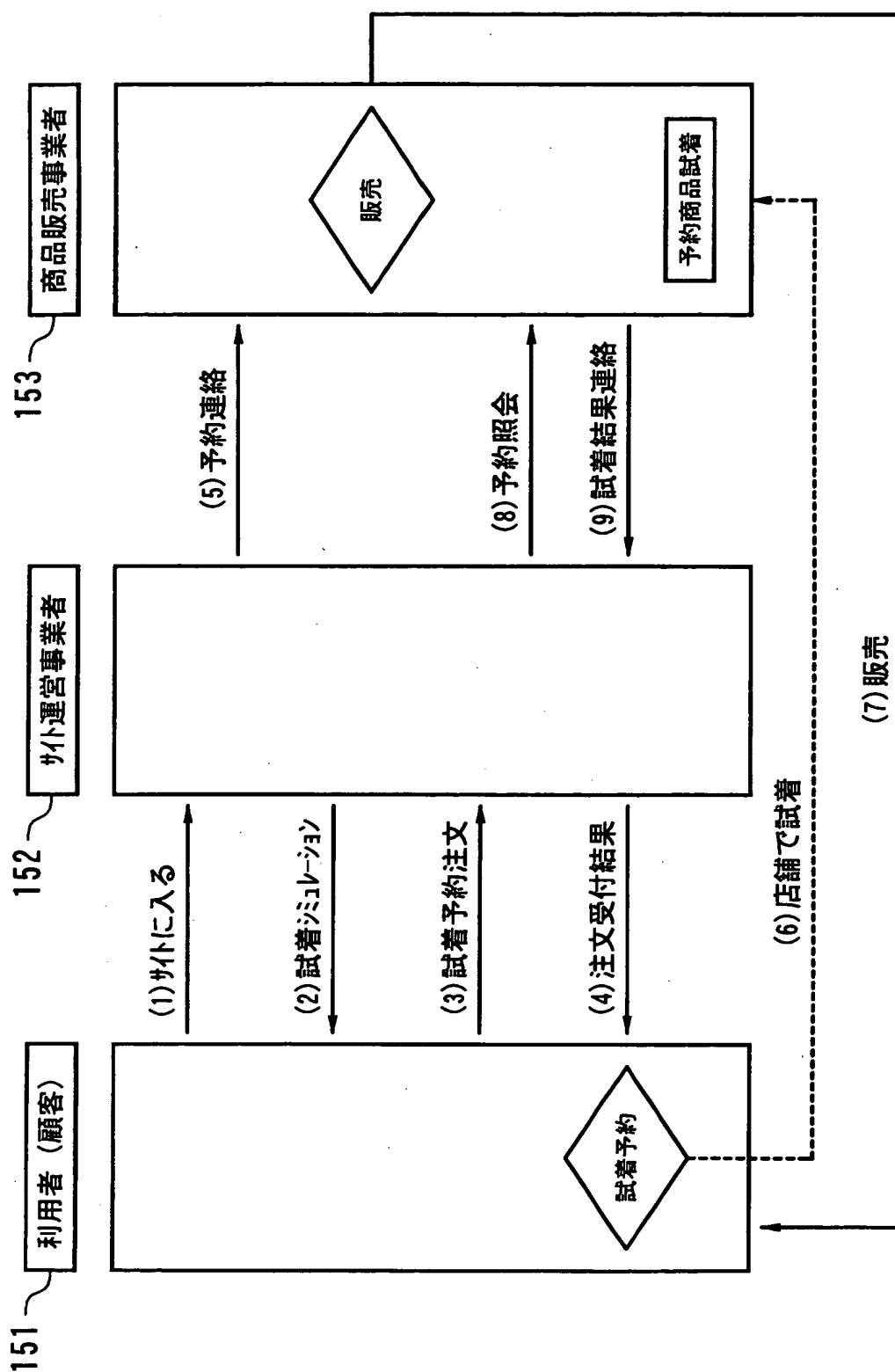
取消

130d 取消ボタン

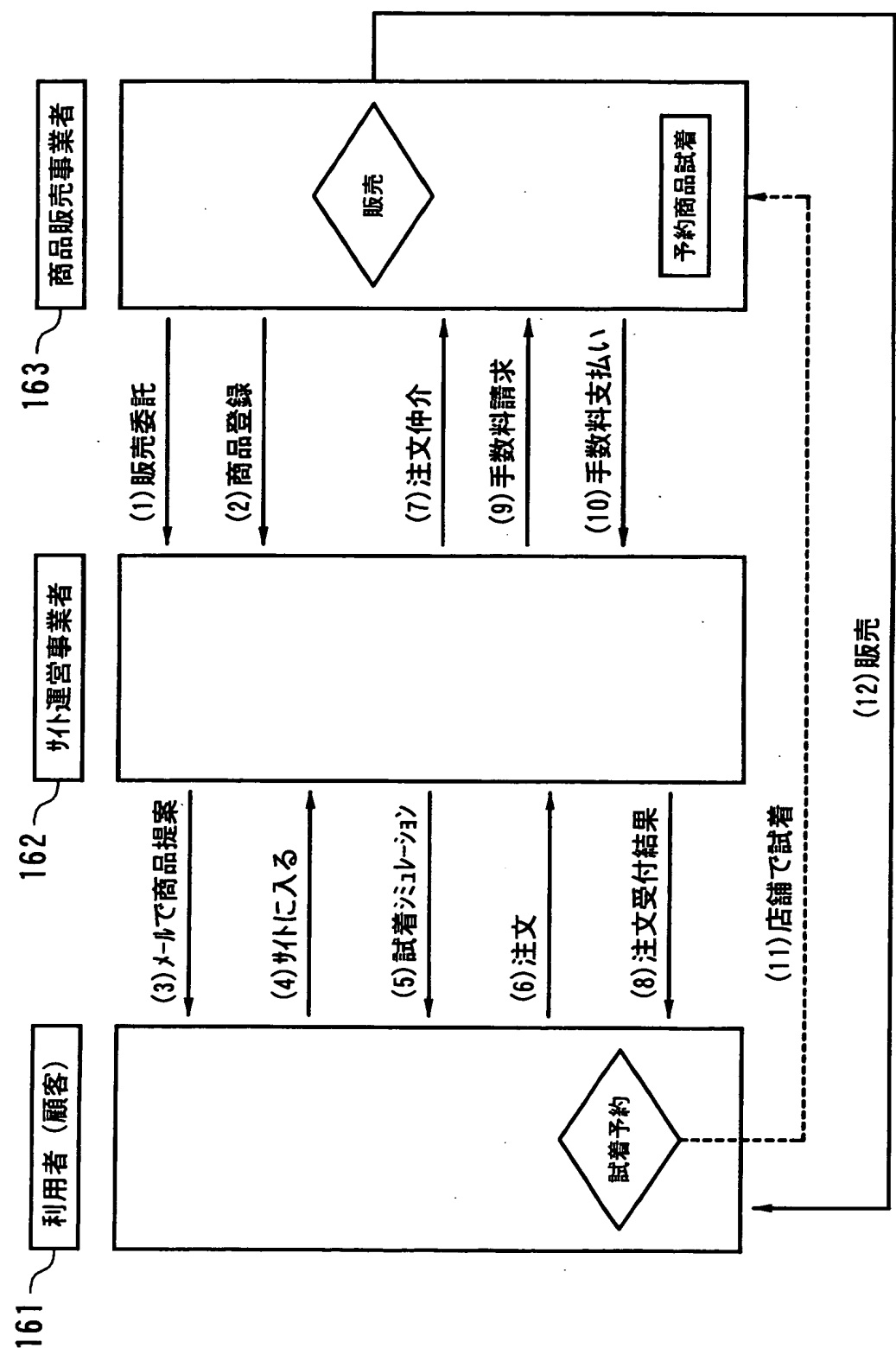
【図 29】



【図 30】



【図 3 1】



【書類名】            要約書

【要約】

【課題】    通信販売において、購入しようとする商品が顧客に似合うか否か等の主観的価値判断を可能にし、このような主観的価値判断のもとに、購入しようとする商品の選択を行うことを可能にする。

【解決手段】    商品紹介処理手段 1 1 によって、顧客に商品を紹介し、試着シミュレーション処理手段 1 3 によって、顧客によって選択された商品の画像を示す商品画像情報と、被写体の画像を示す被写体画像情報とを用い、商品を被写体に擬似的に試着させた試着シミュレーション画像を、ネットワーク 2 0 を介し、端末装置 3 0 に提供し、取引処理手段 1 7 によって、それに対する取引処理を行う。

【選択図】            図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号                    [000005223]

1. 変更年月日            1996年    3月26日

    [変更理由]            住所変更

        住    所            神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

        氏    名            富士通株式会社